

## 60 ヒョウモンモドキ

(*Melitaea scotosia*)

### ■ 分布の状況

国外では朝鮮半島、中国大陸、ロシア極東地域に分布。国内では東北、関東、中部周辺と中国地方のごく限られた場所に分布しているが、個体数の減少が最も著しい種のひとつである。

環境省のレッドリストでは絶滅危惧Ⅰ類、兵庫県版レッドデータブックでは今見られない種に選定されている。

県内では中国山脈の東山麓に位置する西播磨北部と但馬の一部及び北丹波に古い採集記録が残っているが、1976年6月27日に岩村巖氏によって宍粟市波賀町東山で採集された2♂を最後に県内ではその後の記録がなく、絶滅したものと思われる。

六甲山に古い記録があるが、分布域から大きく離れており、同定の誤りと思われる。

### ■ 生息環境

#### 【生息地の現況】

ヒョウモンモドキの食餌植物であるアザミ類やタムラソウが生育する山地の明るい草原を生息地とする。このような場所は、宅地やゴルフ場などに開発されやすく、人為的に左右される場合が多い。垂直分布は1000m以上の高地から300m以下の低地まで記録がある。

#### 【東山高原の変遷】

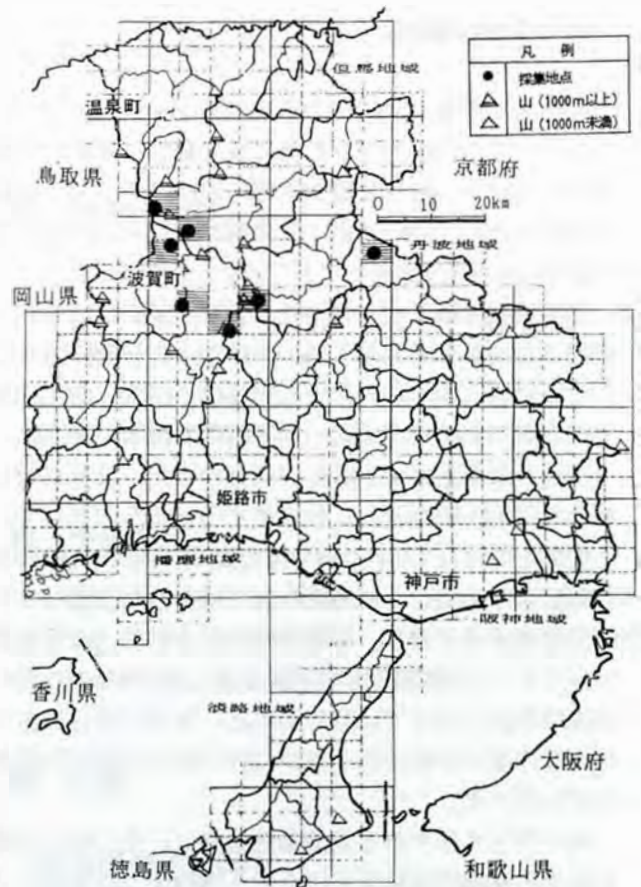
県内最後の生息地、宍粟市波賀町上野の東山高原で1967～68の間に延べ95日間に山小屋の建設に携わった富士本正雄(1995)によると、当時の東山高原は次のような状況であった。

明るい雑木林と湿地があり、ゴイシジミ、オオムラサキ、ヒョウモンモドキ、ウスイロヒョウモンモドキ、オオヒカゲ、ヒメヒカゲ、ギンイチモンジセセリが見られた。

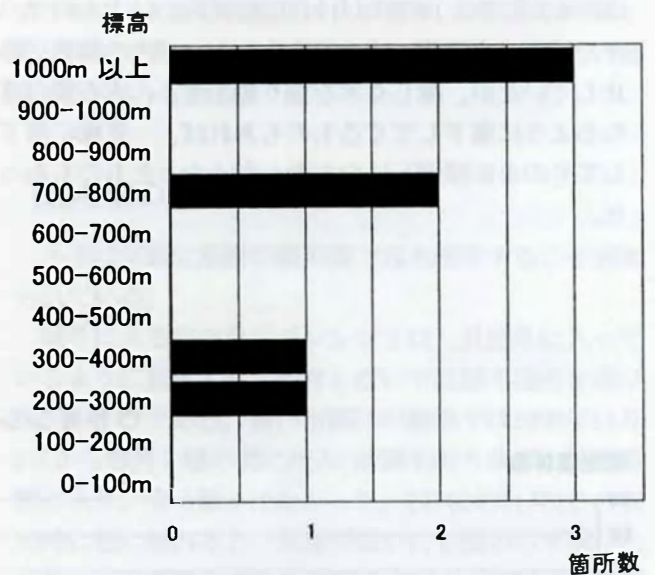
湿地の周辺にはオミナエシが茂っており、湿地の中にはトキソウやコモウセンゴケが見られた。

その10年後の1976年の岩村巖氏の記録が県内最後の記録となったわけであるが、当時はまだウスイロヒョウモンモドキも見られた。

それが1981年の調査では湿地周辺の樹木が茂って



ヒョウモンモドキの県内分布



ヒョウモンモドキの垂直分布

薄暗くなり、本種はおろかウスイロヒョウモンモドキさえ見られず、かろうじてオオヒカゲが確認するという状態になっていた。

## ■ 生態

### 【成虫の発生時期】

成虫は年1回発生する。中国地方の低山地では6月中旬～下旬、高地では7月上旬に発生するが、県内の記録も6月下旬と7月中旬で、ほぼ同時期であると思われる。

### 【周年経過】

中国地方では成虫発生後すぐに交尾、産卵が行われるようである。強制採卵すれば1頭が2,000卵以上産む能力がある。

2週間程度で孵化した幼虫は、集団で糸を吐き、葉を引き寄せて巣状にし、その中で食草をなめるように食べながら成長し、8月には脱皮して5令になった幼虫は枯れ葉や石の窪みなどに糸を吐いて巣とし、集団で休眠に入りそのまま越冬する。

越冬した幼虫は4月上旬から食草を食べはじめ、終令(8令)では単独行動をとり、6月に地上10～20cmぐらいの植物の葉裏等で蛹化する。

### 【食餌植物】

アザミ類・タムラソウと思われる。宍粟市波賀町ではミヤコアザミで越冬後の幼虫が採集されている。

## ■ 採集記録

神河町(大河内町)峰山	1♂	14-VII-1957	西村公夫 <sup>10</sup>
宍粟市波賀町東山	2♂	27-VI-1976	岩村 巖 <sup>10</sup>
宍粟市波賀町戸倉高原 <sup>10</sup>			
養父市(関宮町)氷ノ山		1949	守本陸也 <sup>10</sup>
養父市大屋町氷ノ山南麓横行付近		1953	西谷裕之 <sup>10</sup>
朝来市生野町段ヶ峰		1952	西村公夫 <sup>10</sup>
丹波市青垣町稲土	1ex	29-VI-1952	甚田竜太郎 <sup>10</sup>

## \*参考記録

神戸市六甲山麓	1♂	VI-1936	加地早苗 <sup>148</sup>
岡山県春米付近	1♀		岡村 <sup>10</sup>

環境庁(1980)の栗鹿峰山麓の記録は丹波市青垣町稲土と思われるので記録に加えていない。

## 61 ウスイロヒョウモンモドキ

(*Melitaea protomeidia*)

## ■ 分布の状況

### 【国内外の分布の状況】

国外では朝鮮半島、中国大陸からヨーロッパ、ロシア極東地域に分布し、国内では本州中国地方(兵庫西部、鳥取、岡山、広島、島根)に局地的に分布する。兵庫県朝来市生野町付近が日本の生息地の東限である。

環境省のレッドリストでは絶滅危惧I類、兵庫県版レッドデータブックではAランクに選定されている。

### 【県内の分布の状況】

県内の分布は中国山脈の東山麓に位置する西播磨北部と但馬の限られた区域に分布する。西播磨では佐用町周辺と砥峰高原周辺に分布の中心があり、但馬では氷ノ山東山麓、鉢伏山に分布が集中している。

東限は朝来市生野町段ヶ峰、南限は佐用町(上月町)下秋里、北限は新温泉町(温泉町)石橋となっている。

これまでに知られている産地は県内で約30カ所あるが、その中で1990年代も生息が確認されている産地は香美町村岡区(村岡町)大笹、同町耀山。養父市(関宮町)杉ヶ沢高原、同町鉢伏高原、香美町小代区(美方町)鉢高原、新温泉町(温泉町)上山高原程度であろう。

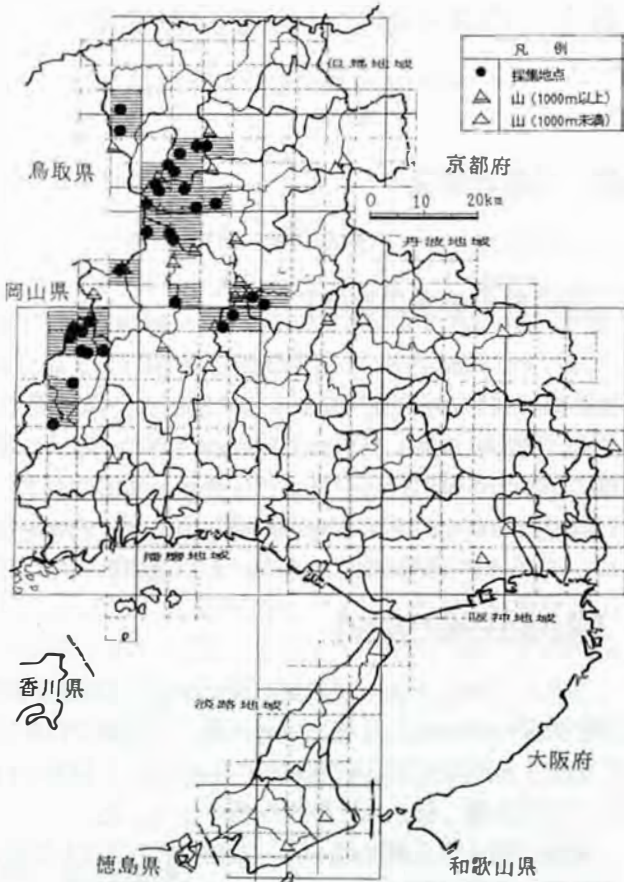
神河町(大河内町)峰山はリゾート開発で産地がなくなり、そのとなりの砥ノ峰においても筆者が1987年に生息を確認して以降、数件の採集例しか聞かない。

佐用町の産地も生息地の環境が変化し、西播磨地域の産地はほとんどが壊滅状態で、宍粟市波賀町新戸倉で1986年に墨谷健氏によって確認されたが、その後の消息はわからない。

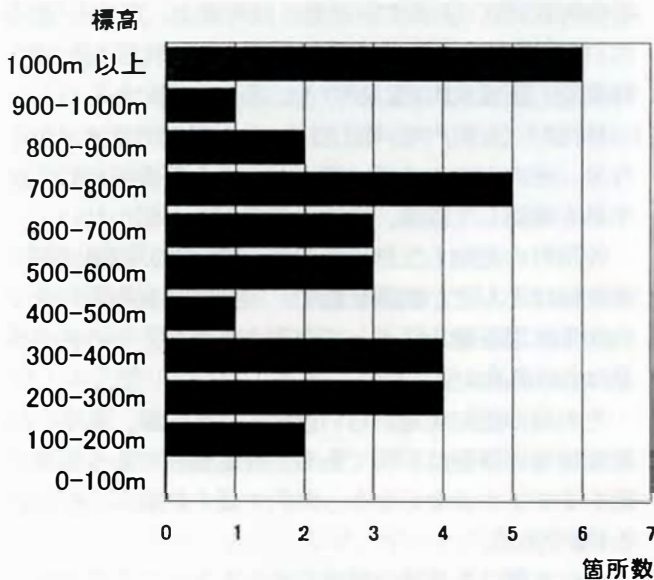
その他の既知産地からの近年の採集記録、あるいは新産地等の情報は不明である。今も健在である産地の数もますます少なくなり、県内で最も絶滅が心配される1種である。

特に本種は生息地の環境の変化もさることながら、現時点の最大の問題は乱獲である。本種は飛翔力が弱く、生息範囲が限られ、ネットから逃れる場所はない。自然を愛する者が種の絶滅に手を貸すことにならないよう気をつけたい。





ウスイロヒョウモンモドキの県内分布



ウスイロヒョウモンモドキの垂直分布

## ■ 生息環境

山地の湿地、湿生草原、スキー場、採草地など明るい草原環境を生息地とし、オミナエシ、カノコソウを食餌植物とする。ヒョウモンモドキと混生している場所では、ヒョウモンモドキは湿原そのものに、ウスイロヒョウモンモドキは周辺で生活しているといわれている。

環境に大きな変化がないのに、個体数の減少が著しい生息地が多く、その原因は不明である。

生息地の垂直分布は1000m以上の高地から200m以下の低地まで分布する。

## ■ 生態

### 【成虫の発生時期】

年1回発生、6月上旬から発生し、7月上旬が発生のピークとなり、7月下旬まで見られる。

### 【周年経過】

成虫発生後は日数を経過せずに交尾、産卵する。産卵は食草の葉に、規則正しく数個から十数個を列状に数列から十数列ならべて、大きい卵群を作る。強制採卵すれば1頭が2,000 卵以上産む能力はあるが、自然状態では200から300卵程度と推定される。

飼育下では2週間程度で孵化し、幼虫は集団で糸を吐き、葉の表で葉肉をなめるように食べる。その後は葉に糸を吐いてネットを張り、1～2 令の間はここで生活し、脱皮も巣の中で行う。

3令ごろから葉を合わせて大きいネットの巣を作り、普段は巣の中で、餌を食べるときは巣の外へ出る。

1983年8月28日に香美町村岡区(村岡町)大笹で越冬巣内の幼虫を確認した。また2003年8月12日の養父市(関宮町)内での調査ではすべて1令であったが、2004年8月13日の調査では、1令から3令まで見られた。当地方では9月上旬から中旬にかけて休眠に入るものと思われる。

越冬はそのままか、又は小集団に分散して、タニウツギなど広葉樹の枯れ葉やワラビの枯葉などで糸を吐き巣にして越冬しているのを確認している。

翌春、食草の新芽がでるところから食べはじめる。2004年5月23日の養父市(関宮町)内での調査では、終令がほとんどで、亜終令も見られた。

このころの幼虫は、摂食時以外は食草付近の腐食した植物層の中に潜り込み、身を隠している。7 令が終令で、5月下旬から6月上旬ごろに地上部に近い位置で蛹化する。

【交尾の観察】

香美町村岡区（村岡町）金山峠のカシワの疎林内の草原での足立氏の7月上旬の観察によれば、交尾を確認したのは14時10分から16時40分の間で、追飛のあとススキの葉上で、雄雌が同一方向に並び、雄が腹部を「し」の字型に雌の方に曲げ、雌の尾端に接続しようとし、数回失敗した後接続すると、雄雌は反対方向に向き、雌が主導権を握って移動、雄は小刻みに翅を震わせながらそのまま引きずられたり、ぶら下がったりしていた。離れるときは雌が雄の交尾器の端を押しつけるように離反し、まもなく雄は飛び立ち、雌はそのままの静止していた。

筆者が2003年7月8日、13時ごろにも観察しているが、この時はすぐに離れてしまった。交尾飛行形式は←♀+♂であった。

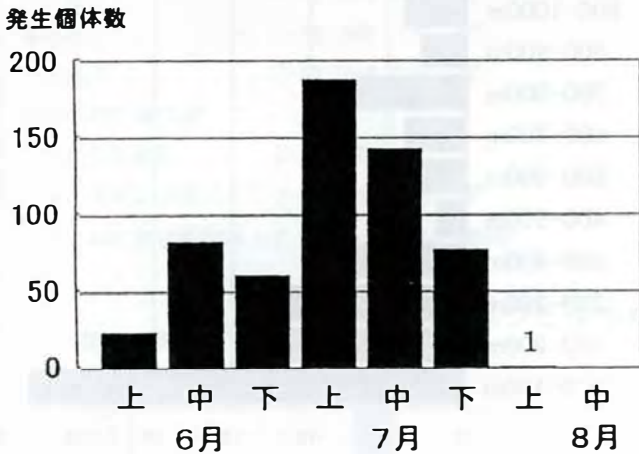
【幼虫の食餌植物】

県内で確認された食餌植物はオミナエシがほとんどであるが、オトコエシの記録もある。

【成虫の吸蜜植物】

オカトラノオでの吸蜜が最もよく観察され、まれにヨツバヒヨドリやブタナでも吸蜜する。生息地で一番多いノアザミの花はまれに観察例もあるが、ほとんど吸蜜しない。獣糞、人の汗、湿った土などを吸汁する。

ウスイロヒョウモンモドキの周年経過



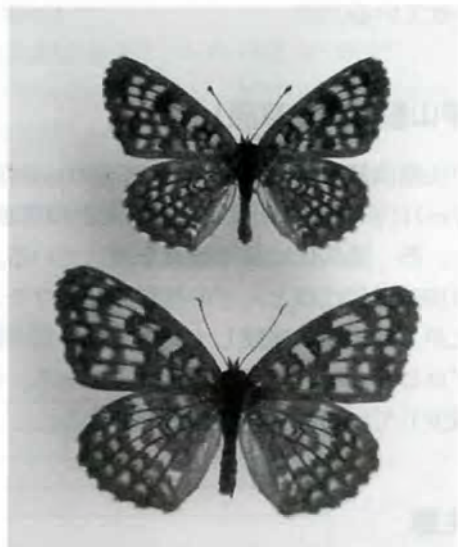
■ 採集記録

- 神岡町（大河内町）峰山 20♂13♀ 23-VII-1962 岩村 巖<sup>10</sup>
- 〃 〃 砥峰 1♂1♀ 10-VII-1975 森下泰治<sup>10</sup>
- 宍粟市波賀町新戸倉 2♂ 4-VII-1986 墨谷 健<sup>10</sup>
- 〃 〃 道谷 1♂1♀ 2-VII-1999<sup>10</sup>
- 〃 〃 東山高原 多数目撃1967 1968 富士本正雄<sup>918</sup>

- 宍粟市千種町三室山 3♂ 10-VII-1973 尾崎 勇<sup>10</sup>
- 〃 〃 志引峠 三木順一<sup>10</sup>
- 佐用町海内 1♂ 23-VI-1973 尾崎 勇<sup>10</sup>
- 〃 上石井 1♂ 11-VI-1961 岩村 巖<sup>10</sup>
- 〃 奥海 1♀ 17-VI-1962 岩村 巖<sup>10</sup>
- 〃 日名倉山16♂12♀ 14-VII-1972 尾崎 勇<sup>10</sup>
- 〃 若洲 7♂1♀ 12-VI-1977 尾崎 勇<sup>10</sup>
- 〃 水根 1♀ 14-VI-1959 中谷貴寿<sup>10</sup>
- 〃 福沢<sup>10</sup>
- 佐用町(南光町)三河 1♂ 13-VI-1959 中谷貴寿<sup>10</sup>
- 〃 〃 船越山<sup>10</sup>
- 佐用町(上月町)下秋里 1♀ 田中 蕃<sup>10</sup>
- 豊岡市日高町金山 2♂ 8-VII-1978 足立・木下<sup>10</sup>
- 香美町村岡区(村岡町)大笹 幼虫多数 28-VIII-1983 広畑政巳<sup>10</sup>
- 〃 〃 耀山 1♂3♀ 7-VII-1990 木下賢司<sup>10</sup>
- 〃 〃 兎和野 13-VII-1980<sup>10</sup>
- 香美町小代区(美方町)新屋1♂1♀目撃 8-VII-2003 近藤伸一
- 新温泉町(温泉町)上山高原<sup>10</sup>・畑平<sup>10</sup>・石橋地区<sup>10</sup>
- 養父市(関宮町)水川 VII-1949 守本陸也<sup>10</sup>
- 〃 〃 鉢伏山 1♂ 10-VII-1955 吉阪道雄<sup>10</sup>
- 〃 〃 葛畑 1♂1♀撮影 16-VII-2000 近藤伸一
- 養父市大屋町杉沢高原 1♂ 26-VI-1977 広畑政巳<sup>10</sup>
- 朝来市生野町段ヶ峰 幼虫1頭 18-X-1959 西村公夫<sup>10</sup>
- 〃 〃 栲原 58±xs 29-VI-1951 西村公夫<sup>726</sup>

その他

宍粟市一宮町長瀬 1♀ 2-VII-1999<sup>10</sup> という記録が報告されている



香美町村岡区大笹産の累代飼育個体の卵を長日条件下(日長16時間)と自然状態(野外)の2群に分けて飼育した。幼虫の成長速度に差は認められなかったが、例外的に長日条件下飼育群で1♂(9月3日)、自然条件下飼育群で2♂(9月16, 17日)が2化した。<sup>533</sup>  
下: 通常個体 上: 秋に羽化した2化個体 1985年9月3日羽化



## 62 ウラギンスジヒョウモン

(*Argyronome laodice japonica*)

### ■ 分布の状況

国外では朝鮮半島、中国からロシア南部、ヨーロッパに分布する。国内では北海道、本州、四国、九州の平地、山地に広く分布する。

兵庫県版レッドデータブックではCランクに選定されている。

県内では、全域に広く点在し、県南部、北部とも集落周辺に生息地が多く、特に県南部の東播磨に分布が集中している。1970年代頃までは各地で見られたが、近年は個体数の減少が著しい。淡路島では1967年以降の採集記録がない。

### ■ 生息環境

#### 【生息環境】

ウラギンスジヒョウモンの幼虫の食餌植物はスミレ類で、明るい草原を生息地とし、県南部の低地では湿地が点在する疎林、河川敷、田畑周辺などでよく見られる。垂直分布は高標高地から低地まで分布するが、100m以下の低地に集中している。低地の産地は集落の周辺にあり、環境の変化が著しいため個体数の減少を加速させている。

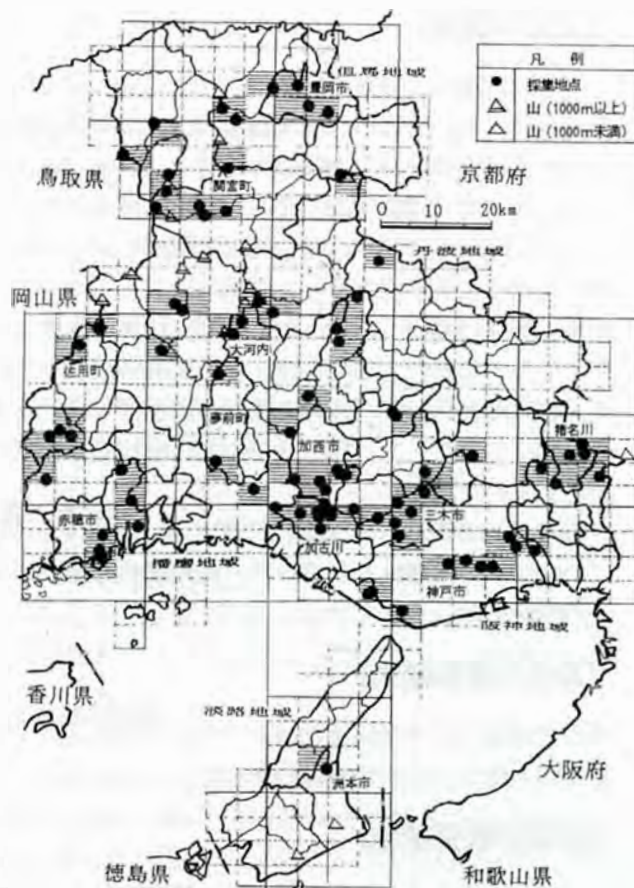
#### 【六甲山麓の高地草原】

六甲山南山麓の東お多福山で、標高600m付近から山頂(697m)にかけてネザサを主体とした草原が広がっており、西 隆広氏は長年観察を続けている。この草原では1980年代はほとんどの種類のヒョウモン類が見られたが、最近まで連続して発生していたのは本種とツマグロヒョウモンだけだったそうである。各地で本種が減少している中で特異な例といえる。

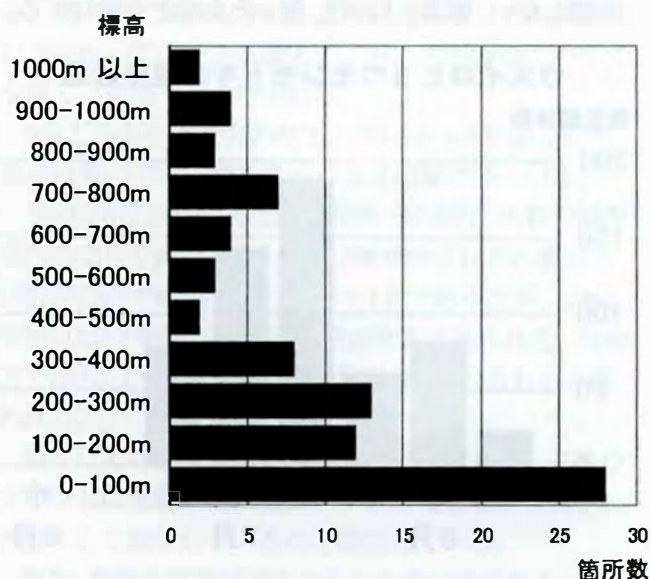
### ■ 生態

#### 【成虫の発生時期】

年1回、6月上旬ごろから発生し、6月中旬が発生のパークとなる。その後個体数は徐々に減じ8月ごろからは



ウラギンスジヒョウモンの県内分布



ウラギンスジヒョウモンの垂直分布

夏眠のためか見られなくなる。

秋には再び見られるようになり、9月中旬ごろに2回目の小さいピークがあり、10月上旬ごろまで見られる。

【幼虫の食餌植物】

スマレ科植物を食草としているが、スマレの種については県内では確認されていない。

【成虫の吸蜜植物】

県内で観察された吸蜜植物は次のとおりである。

(ブナ科)クリ, (ユキノシタ科)ウツギ, (バラ科)ノイバラ, (サクラソウ科)オカトラノオ, (キク科)ノアザミ, ヒメジョオン, ヒョドリバナ, (サクラソウ科)オカトラノオ

【交尾】

1993年6月16日に加西市繁昌町で交尾中の本種を観察した。交尾飛翔形式は←♀+♂であった。

■ 採集記録

- 川西市笹部 15-IX-1976 仲田元亮<sup>9</sup>
- 猪名川町槻並 18-VI-1981 仲田元亮<sup>9</sup>
- "  上阿古谷 24-VI-1981 勝屋 潤<sup>9</sup>
- "  三草山 数頭 11-VII-1977 山下剛史<sup>9</sup>
- 宝塚市切畑 1♀ 1-X-1983<sup>9</sup>
- "  大原野 5-VI-1996 平尾英治<sup>9</sup>
- 三田市下相野 1♂ 14-VI-1997 山下剛史<sup>9</sup>
- 芦屋市東お多福山 1♀ 9-VII-1983 西 隆広<sup>9</sup>

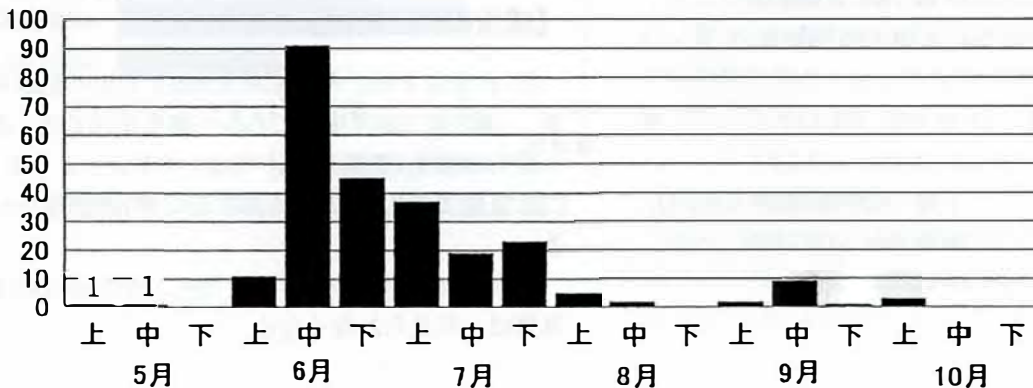
【神戸市】

- 六甲山 1♀ 18-VIII-1979 黒田昌利<sup>9</sup>
- 摩耶山 1ex 3-VII-1963 三木 進<sup>9</sup>
- 一の鳥居 25-VI-1948 吉坂道雄<sup>9</sup>
- 北区有野町逢山峽<sup>9</sup>
- "  山田町藍那 2-VII-1978<sup>9</sup>
- "  山田町山ノ街 1♂ 3-VII-1960 尾崎 勇<sup>9</sup>
- "  山田町教育植物園 1♂ 27-IX-1987 山下剛史<sup>9</sup>

- 明石市松蔭新田 1♂ 14-VI-1959 尾崎 勇<sup>9</sup>
- "  大蔵谷奥 1♂1♀ 8-VII-1962 大東康人<sup>9</sup>
- "  "  大久保町松蔭 15-VI-1980 平尾英治<sup>9</sup>
- 三木市大村 2♂ 14-VI-1987 永幡嘉之<sup>9</sup>
- "  殿畑 3♂ 19-VI-1989 永幡嘉之<sup>9</sup>
- "  与呂木 1♀ 2-X-1988 永幡嘉之<sup>9</sup>
- "  下南 -VI-1976 小倉 滋<sup>9</sup>
- "  脇川 -VI-1976 小倉 滋<sup>9</sup>
- "  増田 -VI-1976 小倉 滋<sup>9</sup>
- "  志染 27-VI-1976 高橋久夫<sup>9</sup>
- 小野市下来住 1♀ 5-VII-1931 山本広一<sup>9</sup>
- "  青野ヶ原 1♂ 20-VI-1978 石井為久<sup>9</sup>
- 加古川市権現ダム 1♂ 6-VI-1992 石井為久<sup>9</sup>
- "  平荘湖 1♂ 15-VI-1996<sup>9</sup>
- "  志方町中才 1♂ 19-VI-1983 広畑政巳<sup>9</sup>
- "  野尻 1♂ 12-VI-1982 M. T<sup>9</sup>
- "  志方町長楽寺 1♂1♀ 9-VII-1984 石井為久<sup>9</sup>
- "  城山 1♂ 30-VI-1996 石井為久<sup>9</sup>
- "  広尾 1♂ 18-VI-1983 近藤伸一<sup>9</sup>
- "  志方町広尾東 1♂18-VI-2000 近藤伸一<sup>9</sup>
- 加西市南網引町 2♂ 18-VI-2000 近藤伸一<sup>9</sup>
- "  青野ヶ原 6♂ 18-VI-1978 森下泰治<sup>9</sup>
- "  野田町 1♂ 18-VI-1983 石井為久<sup>9</sup>
- "  中山町 1♂ 16-VI-1991 石井為久<sup>9</sup>
- "  田原町 6♂ 23-VI-1996 山下剛史<sup>9</sup>
- "  繁昌町 2♂1♀ 16-VI-1993 近藤伸一<sup>9</sup>
- 西脇市比延 徳岡正巳<sup>9</sup>
- "  岡野山 徳岡正巳<sup>9</sup>
- 加東市(東条町)森 2♂ 3-VII-1988 山下剛史<sup>9</sup>
- 多可町加美区(加美町)三国岳 3-VI-1959 猪俣涼一<sup>9</sup>
- "  岩座神 1♂1♀ 7-VII-1977 石井為久<sup>9</sup>
- 姫路市増位山 木村三郎<sup>9</sup>
- "  飾東町夕陽ヶ丘 1♀18-IX-1998 大東康人<sup>9</sup>

ウラギンスジヒョウモンの周年経過

発生個体数





姫路市夢前町雪彦山	1♂	20-V-1956	吉坂道雄 <sup>9</sup>
"    "    菅生澗			谷川洋行 <sup>9</sup>
播州高原 <sup>9</sup>			
神河町(神崎町)千ヶ峰	1♂	12-VII-1964	大東康人 <sup>9</sup>
神河町(大河内町)砥峰	1♂	9-VIII-1981	広畑政巳 <sup>9</sup>
"    "    峰山	1♂1♀	26-VI-1963	岩村 巖 <sup>9</sup>
市川町上牛尾	1♂	28-VI-1974	石井為久 <sup>9</sup>
福崎町日光寺山 <sup>9</sup>			
宍粟市山崎町野々住原(牧場)	1♂1♀	17-VII-1994	大東康人 <sup>9</sup>
宍粟市波賀町水谷	1ex	20-VII-1986	二宗誠治 <sup>9</sup>
"    "    上野	1♂	15-IX-1995	相坂耕作 <sup>9</sup>
相生市矢野町三濃山	1♂	30-VII-1967	唐土洋一 <sup>9</sup>
"    "    光明寺	1♂	9-VI-1974	佐々木薫 <sup>9</sup>
"    "    天ヶ台山	2♂	19-VI-1979	唐土洋一 <sup>9</sup>
赤穂市尾崎	1♂	9-V-1963	北条 正 <sup>9</sup>
"    "    目坂	1♀	13-IX-1969	粉引敏彦 <sup>9</sup>
"    "    加里屋駅裏	1♂	12-VI-1973	松村邦正 <sup>9</sup>
佐用町(三日月町)			広利雅美 <sup>9</sup>
上郡町八保丙(皆坂)	1♀	25-VI-1984	唐土洋一 <sup>9</sup>
佐用町上石井	2♂	16-VI-1974	森下泰治 <sup>9</sup>
"    "    日名倉山	2♂	26-VII-1967	岩村 巖 <sup>9</sup>
佐用町(上月町)秋里	1♂1♀	16-VI-1974	尾崎 勇 <sup>9</sup>
"    "    上秋里	2♂	24-VI-1979	高島 昭 <sup>9</sup>
"    "    久崎	1♂	24-VI-1972	相坂耕作 <sup>9</sup>
豊岡市妙楽寺	1♂	14-VI-1963	木下賢司 <sup>9</sup>
"    "    三開山	2♂	15-VI-1972	木下賢司 <sup>9</sup>
"    "    矢次山		7-VI-1968	吉田 <sup>9</sup>
"    "    滝		-IX-1967	吉田 <sup>9</sup>
豊岡市日高町三川山 <sup>9</sup>			
"    "    神鍋高原	1♀	19-IX-1993	大東康人 <sup>9</sup>
豊岡市出石町奥山(茗荷谷)	1♂	8-VII-1977	木下賢司 <sup>9</sup>
新温泉町(温泉町)美原	1ex	4-VII-1981	黒井利之 <sup>9</sup>
"    "    扇ノ山 <sup>9</sup>			
香美町小代区(美方町)美方高原	1♂	9-VII-1978	広畑政巳 <sup>9</sup>
養父市八鹿町妙見山 <sup>9</sup>			
養父市大屋町加保坂	1♀	13-VIII-1984	近藤伸一 <sup>9</sup>
"    "    杉ヶ沢高原	2♂1♀	30-VII-1995	大東康人 <sup>9</sup>
養父市(関宮町)水ノ山	1ex	8-VII-1992	永幡嘉之 <sup>9</sup>
"    "    出合 <sup>9</sup>			
"    "    鉢伏高原		13-VI-1963	平尾英治 <sup>9</sup>
朝来市生野町栴原	1♂	17-VII-1977	石井為久 <sup>9</sup>
"    "    段ヶ峰		4-VIII-1962	平尾英治 <sup>9</sup>
丹波市青垣町稲土		9-VII-1978	平尾英治 <sup>9</sup>
洲本市安平	1♂	27-VI-1947	堀田 久 <sup>9</sup>

## 63 オオウラギンスジヒョウモン

(*Argyrotrichone ruzsana*)

### ■ 分布の状況

国外では朝鮮半島、中国北東部からアムール、サハリンに分布し、国内では北海道、本州、四国、九州のほぼ全域に分布している。

県内では淡路島を除く県内一円に広く分布するが、丹波から東播磨にかけて分布の空白域がみられる。この空白区域は現在のところ採集記録を確認できないが、分布している可能性は極めて高い。南部では生息地が極限され個体数は少ない。六甲山系東お多福山では多数生息していたが、西隆広氏によると、1983年を最後に見かけなくなり、その後は採集記録も確認できない。他のヒョウモン類とくらべると、山地性の傾向が強い。

### ■ 生息環境

河原、田畑の畦、牧場、スキー場、採草地などスミレ類が生育する明るい草原を生息地とするが、林縁に接した草地で特によく見かける。

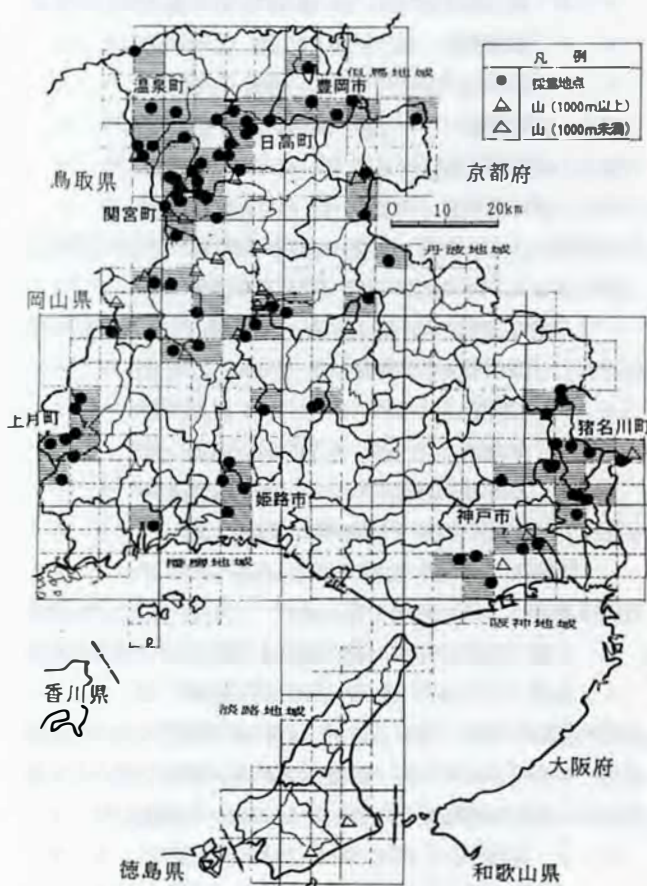
例えば養父市(関宮町)葛畑スキー場では草原の開けた空間はウラギンヒョウモンやミドリヒョウモンなどが主体であるが、林縁の畑地や林に囲まれた狭い草地には必ずと言って良いほど本種が見られる。また森林内の河原、林道などでも見られる。垂直分布は1000m以上の高地から100m以下の低地まで分布しているが、他のヒョウモン類にくらべると高地に分布する傾向が強く、400m~900m付近でも生息地が多い。

### ■ 生態

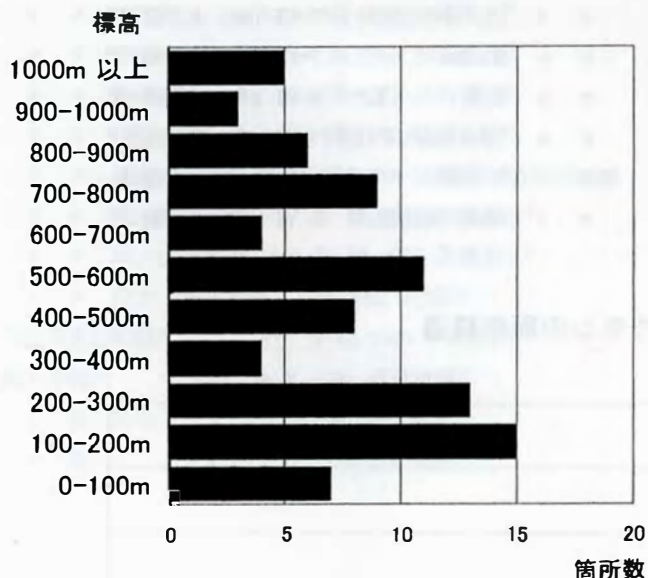
#### 【成虫の発生時期】

年1回発生する。早いものでは5月下旬の記録もあるが、一般的には6月中旬ごろから発生を始める。養父市八鹿町加瀬尾(標高500m)ではウラギンヒョウモンと同じ草原で発生するが、本種のほうが1週間早く羽化する。

7月中旬には発生ピークとなり、その後は減少し、真夏は一旦見られなくなる。



オオウラギンスジヒョウモンの県内分布



オオウラギンスジヒョウモンの垂直分布

9月に入ると再び姿をあらわし、下旬頃には2回目のピークとなり、10月中旬には見られなくなる。

【産卵の観察】

2001年9月16日13時30分ごろの養父市八鹿町の栗園の草地で産卵を観察した。天候は曇りであった。ニョイスミレの群生している草原に下りると、腹を折り曲げ、地表面と垂直になるような体制で歩き、とまっては産卵、また歩く、とまる、産卵という行動を繰り返した。

9月23日は13時40分頃で、天候は晴れ、ニョイスミレとタチツボスミレの混生した田の畦畔で産卵、行動は前記と同じであった。なお同地区では10月6日、17日も多数の個体が見られたが、産卵は見られず、10月28日には全く姿が見られなくなった。



産卵中のオオウラギンスジヒョウモン  
養父市八鹿町加瀬尾 2001年9月16日

【食餌植物】

スミレ類を食草としているが、種は確認できていない。養父市八鹿町では成虫の産卵した草地はニョイスミレの群生地とニョイスミレとタチツボスミレの混生地であった。

【成虫の吸蜜植物】

県内で観察された吸蜜植物は次のとおりである。  
(ユキノシタ科)ノリウツギ、(キク科)ヒヨドリバナ、アザミ、  
(サクラソウ科)オカトラノオ



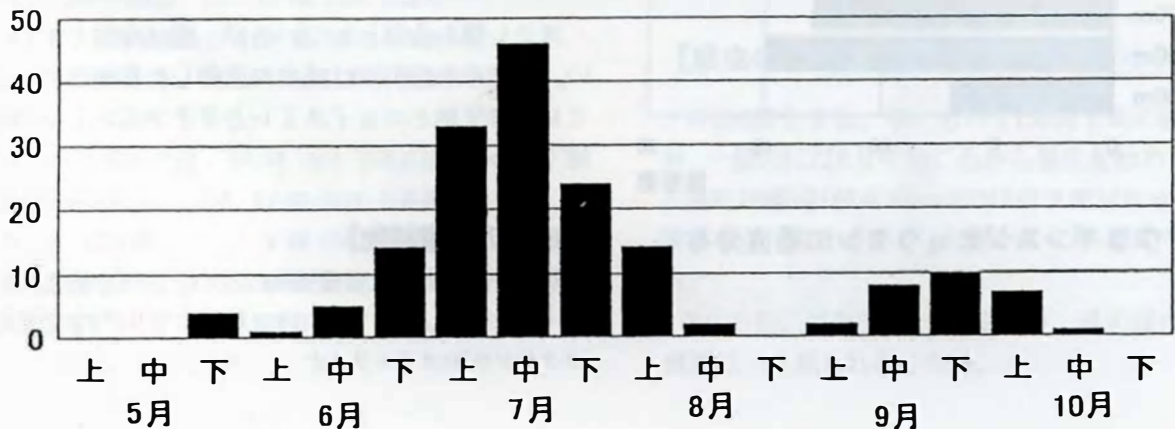
■ 採集記録

川西市黒川 6-X-1996 福原 整<sup>10</sup>  
 " 若宮 1♀ 4-X-1980 有田 斉<sup>10</sup>  
 猪名川町大野山 1♀ 10-VII-1994 森地重博<sup>10</sup>  
 " 上阿古谷 1♂ 9-VII-1993 桑原英夫<sup>10</sup>  
 " 木間生 2♂ 2-VII-1994 鍋島五郎<sup>10</sup>  
 宝塚市清荒神 1♀ 6-X-1984 加藤信一郎<sup>10</sup>  
 " 香合新田-中村 10-IX-1970<sup>10</sup>  
 " 榎峠 1-VII-1979<sup>10</sup>  
 " 鳥ヶ脇 18-IX-1983<sup>10</sup>  
 " 西谷 1♀ 15-VII-1975 山口福男<sup>10</sup>  
 " 大原野 1♂ 16-VI-1996 平尾榮治<sup>10</sup>  
 三田市フワ-カク -1994<sup>10</sup>  
 芦屋市東お多福山 1♂ 9-VII-1983 西 隆広<sup>10</sup>  
**【神戸市】**  
 六甲カントリーハウス 1♂1♀ 22-VII-1969<sup>10</sup>  
 北区山田町藍那3♂2♀ 28-VI-1993 青木陽一<sup>10</sup>  
 " " 山ノ街 1♂ 10-VII-1953 吉坂道雄<sup>10</sup>  
 " 長尾山 1♂ 11-VII-1979 大畑俊雄<sup>10</sup>  
 中央区再度谷 1ex 14-VII-1964 三木 進<sup>10</sup>  
 三木市植山 1♀ -VII-1978 小倉 滋<sup>10</sup>  
 多可町加美区(加美町) 三国岳 28-VI-1959<sup>10</sup>  
 姫路市御立北山 1♂ 1-VII-1979 広畑政巳<sup>10</sup>  
 " 打越 1♂ 28-IX-1986 広畑政巳<sup>10</sup>  
 " 西蒲田 1♂ 24-VI-1981 広畑政巳<sup>10</sup>  
 姫路市夢前町菅生澗 1♀ -IX-1967 木村三郎<sup>10</sup>  
 福崎町七種山 2♀(目) 24-IX-1984 石井為久<sup>10</sup>  
 市川町上牛尾半瀬 1♂ 11-VII-1993 広畑政巳<sup>10</sup>  
 " 下牛尾河内 1♀ 27-VI-1993 広畑政巳<sup>10</sup>  
 神河町(大河内町) 砥峰 1♂ 15-VII-1973 広畑政巳<sup>10</sup>  
 " " 峰山 1♂ 9-VIII-1981 広畑政巳<sup>10</sup>

宍粟市波賀町坂の谷 1♀(目) 8-VIII-1999 近藤伸一<sup>10</sup>  
 " " 東山高原1♂(目) 15-VII-1978 石井為久<sup>10</sup>  
 " " 赤西溪谷 1♂ 14-VII-1981 佐々木薫<sup>10</sup>  
 " " 音水 2♂2♀ 20-IX-1997 平尾榮治<sup>10</sup>  
 宍粟市一宮町安積 1♂ 29-VI-1971 山口福男<sup>10</sup>  
 宍粟市山崎町野々隅原 1♂ 17-VII-1994 大東康人<sup>10</sup>  
 宍粟市千種町鷹の巣 1♂ 12-VII-1981 広畑政巳<sup>10</sup>  
 相生市天ヶ台 1♀羽化 15-VI-1982 米村和繁<sup>10</sup>  
 上郡町黒石 2♂1♀(目) 8-VII-1978 石井為久<sup>10</sup>  
 " 八保丙(皆坂)1♀ 23-IX-1984 清水幸三<sup>10</sup>  
 佐用町(上月町)下秋里 1幼虫 5-V-1982 広畑政巳<sup>10</sup>  
 " " 上秋里 2♂ 24-VI-1979 高島 昭<sup>10</sup>  
 " " 中山 1♂ 7-VII-1979 高島 昭<sup>10</sup>  
 " " 大日山 1♂(目) 4-VI-1994 石井為久<sup>10</sup>  
 佐用町日名倉山 1♂ 7-VII-1973 尾崎 勇<sup>10</sup>  
 " 大撫山 3♂ 23-VI-1979 高島 昭<sup>10</sup>  
 豊岡市奥野 1♀ 15-IX-1995<sup>10</sup>  
 " 三開山 2♂ 2♀ 13-VII-1970 木下賢司<sup>10</sup>  
 " 高屋 1♂ 23-V-1982 前平照雄<sup>10</sup>  
 豊岡市城崎町来日 2♀ 5-VIII-1976 木下賢司<sup>10</sup>  
 豊岡市竹野町金谷 1♂ 16-VI-1964 木下賢司<sup>10</sup>  
 豊岡市日高町神鍋高原 1♀ 19-IX-1993 大東康人<sup>10</sup>  
 " " 神鍋 1♀ 22-IX-2001 近藤伸一<sup>10</sup>  
 " " 羽尻 1♀ 28-VII-2001 近藤伸一<sup>10</sup>  
 " " 名色林道 1♂ 3-VII-1978 木下賢司<sup>10</sup>  
 " " 蘇武岳 2♀ 30-VII-1981 福井丈嗣<sup>10</sup>  
 " " 山ノ宮(大岡山)1♂7-VII-1985 木下賢司<sup>10</sup>  
 " " 金山峠 7-VIII-1973 遠藤知二<sup>10</sup>  
 " " 名色 1♂ 9-VIII-1987 近藤伸一<sup>10</sup>  
 " " 三川山3♂2♀(目)13-VII-1994 石井為久<sup>10</sup>  
 豊岡市出石町上村 1♀ 15-X-2001 近藤伸一<sup>10</sup>  
 " " 東床ノ尾山頂1♀ 5-VII-1978 木下賢司<sup>10</sup>

オオウラギンスジヒョウモンの周年経過

発生個体数



豊岡市但東町奥藤	1♂	12-VII-1988	近藤伸一 <sup>10</sup>
香美町村岡区(村岡町) 耀山	1♂	8-VII-1978	木下賢司 <sup>10</sup>
〃 〃 大笹鉢北	1♂	26-VII-1981	広畑政巳 <sup>10</sup>
〃 〃 兔和野	3♂	19-VII-1992	永幡嘉之 <sup>10</sup>
〃 〃 滞川山林道	1♂	26-VII-1995	木下賢司 <sup>10</sup>
〃 〃 白菅山	1♂	23-VI-1990	木下賢司 <sup>10</sup>
〃 〃 熊波牧場	1♂1♀	19-VII-1999	大東康人 <sup>10</sup>
香美町小代区(美方町) 新屋	1♂2♀	20-VII-1991	永幡嘉之 <sup>10</sup>
〃 〃 美方高原	17-VII-1981	島田真輔 <sup>10</sup>	
新温泉町(温泉町) 飯野	1♂	13-VII-1992	永幡嘉之 <sup>10</sup>
〃 〃 湯谷	1♂	21-VII-1992	永幡嘉之 <sup>10</sup>
〃 〃 肥前畑	1♂	18-VII-1992	永幡嘉之 <sup>10</sup>
〃 〃 扇ノ山小ゾッコ	1♀27-VII-1992	永幡嘉之 <sup>10</sup>	
〃 〃 扇ノ山畑ヶ平	1♂	13-VIII-1988	永幡嘉之 <sup>10</sup>
〃 〃 上山高原	多数目撃	21-VII-2002	近藤伸一
〃 〃 海上林道終点	多数目撃	21-VII-2002	近藤伸一
新温泉町(浜坂町) 城山	1♂	8-VII-1992	永幡嘉之 <sup>10</sup>
朝来市生野町栲原	1♀(目)	22-IX-1978	石井為久 <sup>10</sup>
〃 〃 段ヶ峰	1♂(目)	31-VII-1976	石井為久 <sup>10</sup>
朝来市和田山町夜久野高原	♂♀(撮)	16-VI-1994	木下賢司 <sup>10</sup>
養父市八鹿町妙見山林道	♂♀(撮)	20-VII-1991	木下賢司 <sup>10</sup>
〃 〃 妙見	1♂	7-VII-2001	近藤伸一
〃 〃 石原	3♀1♂	8-VII-2001	近藤伸一
〃 〃 加瀬尾	1♀	16-IX-2001	近藤伸一 <sup>26</sup>
養父市大屋町杉ヶ沢高原	1♀	26-IX-1982	近藤伸一 <sup>10</sup>
養父市(関宮町) 葛畑	3♂	30-VI-2001	近藤伸一
〃 〃 大久保	1♂	14-VII-1991	永幡嘉之 <sup>10</sup>
〃 〃 鉢伏山	1♂	16-VIII-1969	相坂耕作 <sup>10</sup>
〃 〃 鉢伏高原	3♀	5-VIII-1972	山口福男 <sup>10</sup>
〃 〃 別宮	1♂	15-VII-1980	福井丈嗣 <sup>10</sup>
〃 〃 福定	1♂	25-VII-1986	永幡嘉之 <sup>10</sup>
〃 〃 氷ノ山大平頭	1♀	23-VII-1992	永幡嘉之 <sup>10</sup>
〃 〃 氷ノ山東尾根	1♂	25-VII-1986	永幡嘉之 <sup>10</sup>
〃 〃 丹土	多数目撃	12-VII-2002	近藤伸一
丹波市青垣町稲土	1♂	9-VII-1978	平尾榮治 <sup>10</sup>
篠山市籠坊	1♀	9-X-1994	森地重博 <sup>10</sup>
〃 後川新田	1♀	28-IX-1997	杠 隆史 <sup>10</sup>
〃 篠山	1♀	1-VII-1977	山口福男 <sup>10</sup>

## 64 メスグロヒョウモン

(*Damora sagana liane*)

### ■ 分布の状況

国外では朝鮮半島、中国、ヒマラヤ、西シベリアに分布する。国内では北海道、本州、四国、九州南端にかけて広く分布する。

県内の分布は、南部では広く分布するが一般的に個体数は少ない。神戸市西部や加古川市周辺、西播磨南部の里山では比較的多い。西播磨の北部や南但馬などの内陸部の高標高地や北但馬の美方郡などでは採集記録が少ないが、海岸近くで見られることがある。淡路島では産地が多く個体数も比較的多い。

### ■ 生息環境

平地から丘陵地の草原や林間の草地、河川沿い、道路や集落周辺の畑地などで見られる。他のヒョウモン類とくらべると集落周辺で見られることが多い。

垂直分布は800m以下で、300m以下の低地が垂直分布の中心となっている。芦屋市では500m以上の高地で目撃されている

### ■ 生態

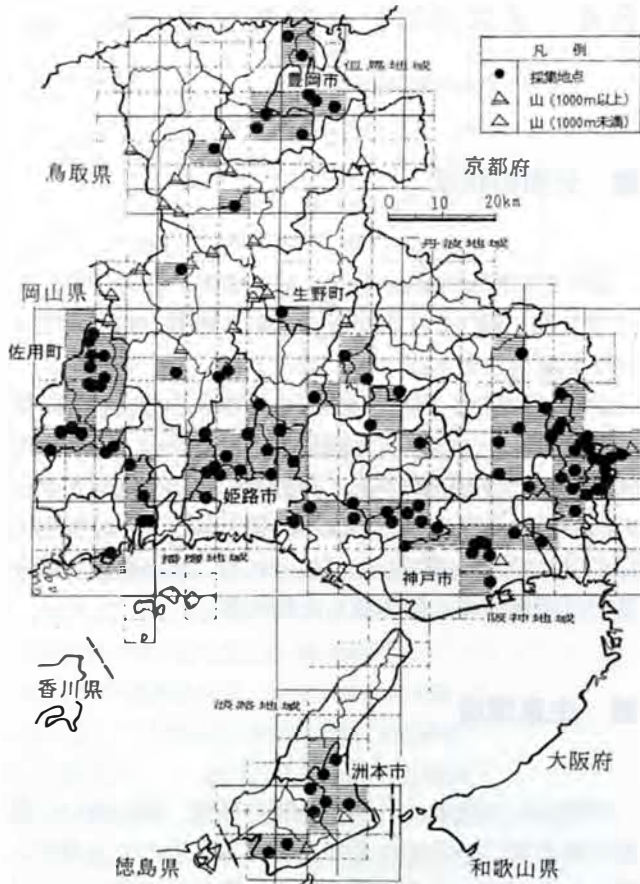
#### 【成虫の発生時期】

6月上旬～7月にかけて年1回発生する。発生のピークは6月中旬で、盛夏にはほとんど見られなくなるが、9月中旬から10月上旬にかけて再びあらわれ、10月中旬には見られなくなる。

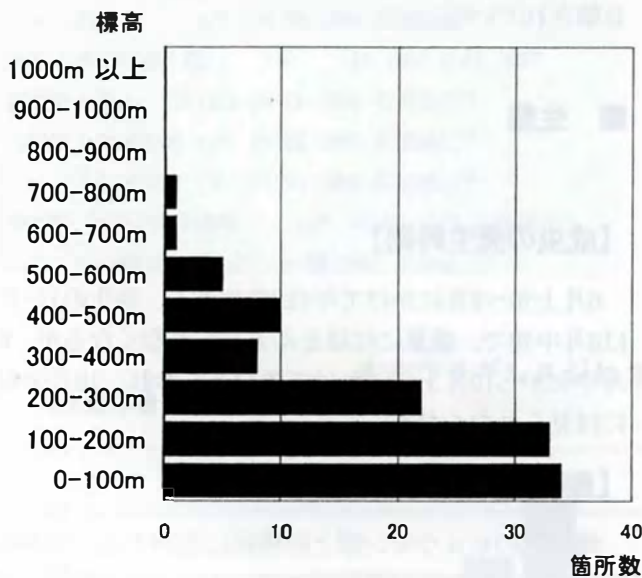
#### 【産卵】

雌は他のヒョウモン類と同様秋に産卵する。洲本市内で行った1978年の採卵例では、10月1日に産卵し、10月11～15日に孵化した幼虫はエサを食べることなく越冬に入った。





メスグロヒョウモンの県内分布



メスグロヒョウモンの垂直分布

【食餌植物】

スマレ科植物を食草としているが、スマレの種については県内では確認されていない。

【成虫の吸蜜植物】

県内で観察された吸蜜植物は次のとおりである。  
 (ブナ科)クリ, (スイカズラ科)スイカズラ, (フジウツギ科)ブツドレア, (アオイ科)フヨウ, (キク科)アザミ, ノアザミ, ヒヨドリバナ, シオン, ヤクシソウ, (サクラソウ科)オカトラノオ, (タデ科)イタドリ, ソバ

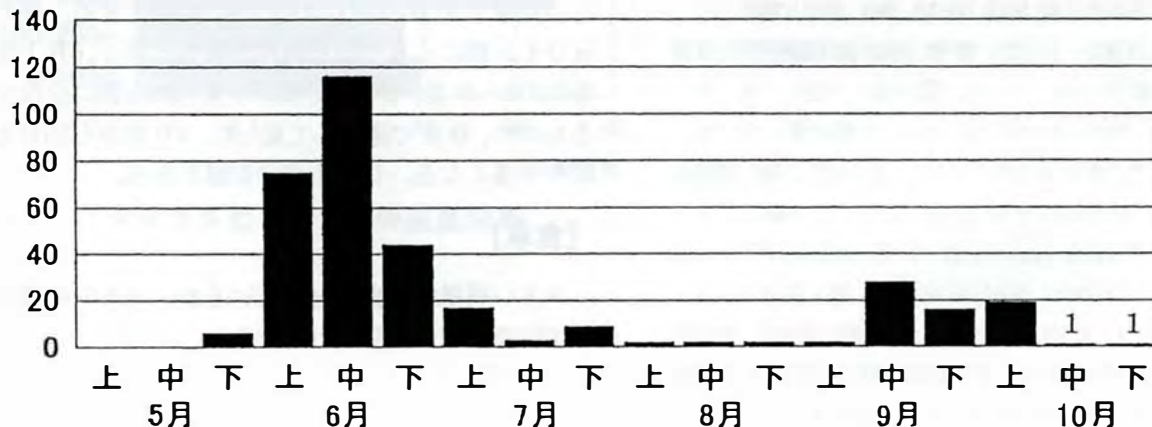
■ 採集記録

- 川西市笹部 1♀ 7-VI-1971 杠 隆史<sup>10</sup>
- 〃 黒川 1♀ 11-X-1997 近藤伸一<sup>10</sup>
- 〃 多田 1ex 29-VII-1966 鴻池義一<sup>10</sup>
- 〃 鼓ヶ滝 1♀ 6-VII-1969 浜田 稔<sup>10</sup>
- 〃 山下 1♀ 16-VI-1968 杠 隆史<sup>10</sup>
- 〃 妙見新滝 1♂1♀ 8-VI-1969 杠 隆史<sup>10</sup>
- 〃 多田院 19-IX-1966 小坂利明<sup>10</sup>
- 〃 東畦野〜一の鳥居 11-VI-1976 小坂利明<sup>10</sup>
- 〃 横路 10-VI-1973 仲田元亮<sup>10</sup>
- 〃 若宮 1♀ 2-X-1988 高橋邦明<sup>10</sup>
- 〃 一庫 1♂1♀ 1-VII-1958 山口福男<sup>10</sup>
- 猪名川町三草山 1♂ 20-VI-1993 大東康人<sup>10</sup>
- 〃 上阿古谷 2♂ 26-VI-1972 和田幸夫<sup>10</sup>
- 〃 大野山 (目) 23-IX-1991 高橋邦明<sup>10</sup>
- 〃 仁部 5♂2♀ 25-VI-1994 森地重博<sup>10</sup>
- 〃 鉄山 29-VI-1975 小坂利明<sup>10</sup>
- 〃 槻並 26-VI-1977 小坂利明<sup>10</sup>
- 〃 清水 22-VI-1980 小坂利明<sup>10</sup>
- 〃 内馬場 12-VI-1977 仲田元亮<sup>10</sup>
- 〃 仁頂寺-堂床山 15-VI-1980 森地重博<sup>10</sup>
- 三田市乙原 1♂ 6-VII-1997<sup>10</sup>
- 〃 東山 1♀ (目) 29-VI-1999 近藤伸一<sup>10</sup>
- 〃 フワクワン -1994<sup>10</sup>
- 宝塚市清荒神 1♀ 4-X-1981 加藤信一郎<sup>10</sup>
- 〃 鳥ヶ脇 1♂ 15-IX-1983<sup>10</sup>
- 〃 切畑 1♀ 1-X-1983<sup>10</sup>
- 〃 香合新田 1♀ 28-IX-1976<sup>10</sup>
- 芦屋市奥池付近 1♀ 15-IX-1983 西 隆広<sup>10</sup>
- 【神戸市】
- 六甲山 1♀ 24-VII-1953 吉坂道雄<sup>10</sup>

中央区諏訪山公園 1♂	-VI-1994	山口福男 <sup>806</sup>	姫路市下伊勢 1♂	1-VI-1980	広畑政巳 <sup>10</sup>
西区神出町(鹿岡)山 2♂	14-VI-1959	山口福男 <sup>10</sup>	” 峰相山 1♀	18-IX-1983	広畑政巳 <sup>10</sup>
” 櫛谷町寺谷 1♀	1-VII-2000	近藤伸一	” 打越 1♀	10-X-1983	広畑政巳 <sup>10</sup>
北区山田町森林植物園 1♀	-VI-1995	山口福男 <sup>10</sup>	” 南山田藤の木山 1♀	23-IX-1996	近藤伸一 <sup>10</sup>
” ” 箕谷 1♀	3-VII-1960	尾崎勇 <sup>10</sup>	” 仁豊野 1♀(目)	11-VI-1994	石井為久 <sup>10</sup>
” ” 谷上 1♂1♀	24-VII-1960	尾崎勇 <sup>10</sup>	姫路市香寺町恒屋 1♀(目)	6-X-1978	石井為久 <sup>10</sup>
” ” 山ノ街 1♂	1-VI-1961	尾崎勇 <sup>10</sup>	姫路市夢前町岡 1♀	5-VI-1983	広畑政巳 <sup>10</sup>
” 道場町生野 1♀	22-X-1978	近藤伸一 <sup>10</sup>	” 雪彦山 1♂	-IX-1966	木村三郎 <sup>10</sup>
” 有野町逢山峡 1♀	14-VII-1960	尾崎勇 <sup>10</sup>	” 菅生淵 1♂	-IX-1967	木村三郎 <sup>10</sup>
” 松ヶ枝町 1♀	4-VI-1995	平尾栄治 <sup>10</sup>	” 山窩 2♂2♀(目)	5-VI-1983	石井為久 <sup>10</sup>
三木市本町 6-VI-1976	高橋久夫 <sup>10</sup>		” 護持 1♀	5-X-2002	広畑政巳
” 大村 1♂	27-IX-1986	永幡嘉之 <sup>10</sup>	姫路市安富町三坂 1♂	22-VII-1973	木村三郎 <sup>10</sup>
” 戸田 1♂	8-VI-1986	永幡嘉之 <sup>10</sup>	” ” 関 1♀	21-IX-1975	木村三郎 <sup>10</sup>
” 増田 -VI-1977	小倉滋 <sup>10</sup>		福崎町七種山 2♂	7-VI-1974	石井為久 <sup>10</sup>
” 志染町中 -VI-1977	小倉滋 <sup>10</sup>		” 山崎 1♀(目)	30-IX-1978	石井為久 <sup>10</sup>
” 平井 -VI-1977	小倉滋 <sup>10</sup>		市川町上牛尾半瀬 1♀	15-IX-1980	広畑政巳 <sup>10</sup>
小野市来住町 1♂	16-VI-1945	山本広一 <sup>10</sup>	太子町上太田 1♂	8-VI-1975	岩村巖 <sup>10</sup>
” 青野ヶ原 1♀	23-IX-2001	秋山耕治 <sup>826</sup>	宍粟市山崎町梯 2♂	7-VI-1964	岩村巖 <sup>10</sup>
加古川市上荘町 1♀	1-VI-1931	山本広一 <sup>10</sup>	” ” 神野 1♂	17-VI-1957	山口福男 <sup>10</sup>
” 志方町水室 1♀	11-VI-1983	近藤伸一 <sup>10</sup>	宍粟市一宮町 <sup>10</sup>		
” 志方町志方東公園 2♂	2-X-1999 <sup>863</sup>		宍粟市波賀町引原 1♀	1-VIII-1957	山口福男 <sup>10</sup>
” 志方町野尻 2♀6♂	9-IX-2001	近藤伸一	相生市川原町 1♂	11-VI-1957	唐土洋一 <sup>10</sup>
高砂市阿弥津町 1♂	28-V-1998	竹井一 <sup>10</sup>	” 大谷町 1♂	17-VI-1962	唐土洋一 <sup>10</sup>
加西市中山 2♂2♀	16-VI-1991	石井為久 <sup>10</sup>	” 三濃山 1♂	11-IX-1967	豆柄周二 <sup>10</sup>
” 西長町善助山 1♂	7-VI-2001 <sup>780</sup>		” 陸光明山 1♂	14-VI-1973	松村邦正 <sup>10</sup>
加東市(社町)三草山 1♂	11-VI-1989	近藤伸一 <sup>10</sup>	” 相生 1♀	5-VI-1974	佐々木薫 <sup>10</sup>
” 上三草 1♀	2-VI-2001	戸畑淳 <sup>826</sup>	” 天下台山 1♀	23-IX-1996	竹内俊行 <sup>10</sup>
西脇市合山町 2♀(目)	10-X-1977	石井為久 <sup>10</sup>	” 若狭野宝台山 1♂	26-V-2001	北原幹郎 <sup>826</sup>
西脇市黒田庄町喜多 8-VI-1959 <sup>10</sup>			赤穂市尾崎 1♀	6-IX-1963	北条正 <sup>10</sup>
多可町中区(中町)中村 2♂2♀	14-VI-1961	尾崎勇 <sup>10</sup>	上郡町大杉野 1♂	2-VI-1963	岩村巖 <sup>10</sup>
多可町加美区(加美町)多田 1♂	-VI-1985	山口福男 <sup>10</sup>	” 富満 1♂	2-VI-1963	西垣憲治 <sup>10</sup>
			佐用町(上月町)下秋里 1♀	15-VI-1975	広畑政巳 <sup>10</sup>

メスグロヒョウモンの周年経過

発生個体数





〃	〃	上秋里	1♀	7-VI-2000	島崎正美
〃	〃	久崎	6♂1♀	6-VI-1961	岩村 巖 <sup>10</sup>
〃	〃	西新宿	1♀	12-VI-1993	高島 昭 <sup>10</sup>
佐用町下石井	2♂4♀		16-VI-1974	広畑政巳 <sup>10</sup>	
〃	若州	1♂	15-VI-1980	広畑政巳 <sup>10</sup>	
〃	上石井	2♂1♀	13-VI-1959	岩村 巖 <sup>10</sup>	
〃	田野	1♀	7-VI-1997	大東康人 <sup>10</sup>	
〃	大船	1♂	15-VI-1976	相坂耕作 <sup>10</sup>	
〃	海内	2♂	23-VI-1973	佐々木薫 <sup>10</sup>	
〃	口長谷	1♂	5-VI-1979	高島 昭 <sup>10</sup>	
〃	奥長谷	1♂	9-VI-1979	高島 昭 <sup>10</sup>	
〃	福沢	1♂	18-VI-1989	森下泰治 <sup>10</sup>	
豊岡市妙楽寺	1♂1♀		9-VI-1963	木下賢司 <sup>10</sup>	
〃	三開山	2♂3♀	15-VI-1972	木下賢司 <sup>10</sup>	
〃	高屋	1♂	3-VI-1982	前平照雄 <sup>10</sup>	
豊岡市城崎町来日岳	1♀		29-IX-1974	木下賢司 <sup>10</sup>	
豊岡市竹野町阿金谷	1♂1♀		8-VI-1964	小崎茂樹 <sup>10</sup>	
豊岡市日高町鶴岡	2♂		11-VI-1980	福井丈嗣 <sup>10</sup>	
〃	〃	栃本	1♀	19-VI-1979	木下賢司 <sup>10</sup>
〃	〃	山宮(大岡山)	1♀	18-VI-1984	前平照雄 <sup>10</sup>
香美町村岡区(村岡町)	糺山1♂		5-VII-1979	福井丈嗣 <sup>10</sup>	
養父市八鹿町加瀬尾	1♀		23-IX-2001	近藤伸一	
〃	〃	坂本	1♀	4-X-2001	近藤伸一
養父市大屋町加保坂	1♂1♀		13-VIII-1984	近藤伸一 <sup>10</sup>	
朝来市和田山町筒江	1♀		29-IX-2001	近藤伸一	
朝来市生野町栃原	1♂		12-VI-1961	山口福男 <sup>10</sup>	
篠山市丸山	1♂		24-VIII-1997	杠 隆史 <sup>10</sup>	
〃	〃	籠坊	(目)	5-VII-1980	森地重博 <sup>10</sup>
〃	〃	上籠坊		26-VII-1981	仲田元亮 <sup>10</sup>
洲本市安乎町	1♂		18-VI-1947	堀田 久 <sup>10</sup>	
〃	〃	鮎屋ダム			菊地宏美 <sup>10</sup>
〃	〃	中河原町竹原 <sup>10</sup> ・先山 <sup>10</sup>			
南あわじ市(緑町)初尾	3♂3♀		16-IX-1990	菊地宏美 <sup>10</sup>	
〃	〃	中条中筋	3♂2♀	18-IX-1977	近藤伸一 <sup>10</sup>
〃	〃	感応寺山			菊地宏美 <sup>10</sup>
南あわじ市(南淡町)阿万	3♀		11-VI-1961	藤平 明 <sup>10</sup>	
〃	〃	大日ダム	1♂	23-VI-1962	武田義明 <sup>10</sup>

## 65 クモガタヒョウモン

(*Nephargynnis anadyomene ella*)

### ■ 分布の状況

国外では朝鮮半島、中国、アムールなどに分布する。国内では北海道、本州、四国、九州する。

兵庫県版レッドデータブックでは要調査種に選定されている。

県一円に広く分布しているが、他の大型ヒョウモン類とくらべると個体数が少ない。これはヒョウモン類が激減する以前でも本種が一度に多数見られる場所は少なかった。現在、県内の大型ヒョウモン類の中では、オオウラギンヒョウモンに次いで、ウラギンスジヒョウモンとともに個体数が少ない種である。

但馬では海岸近くでも見られることがある。淡路島では古い記録があるものの近年は採集されていない。

### ■ 生息環境

林間の明るい空間や草地、溪流や林道沿いの開けた空間、集落周辺など様々な環境で見られるが、広い草原で見ることは少ない。また他のヒョウモン類は毎年継続して見られる産地があるが、本種は生息場所に特徴がなく、確実に見ることが出来る場所が少ない。垂直分布は500m以下に多く、300m以下付近が垂直分布の中心である。

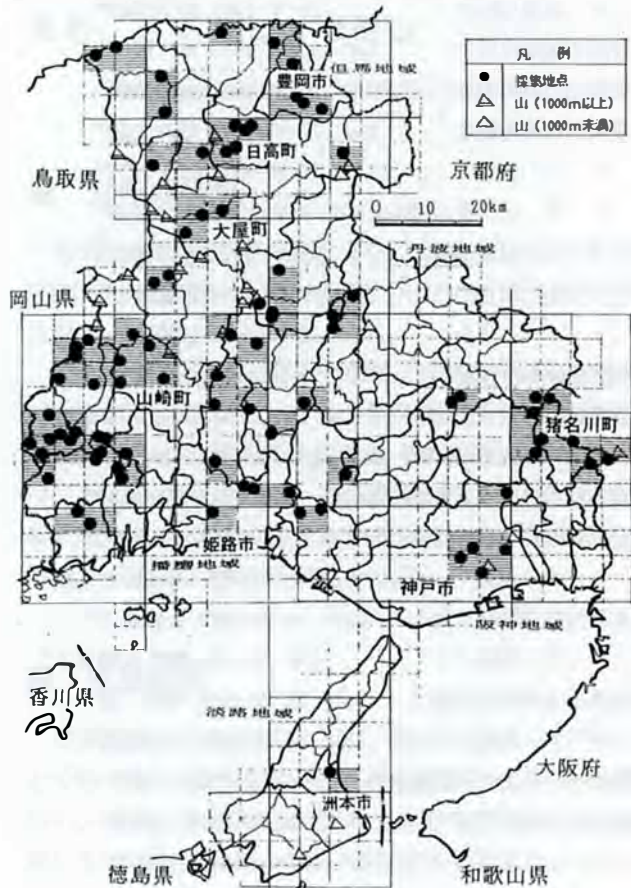
### ■ 生態

#### 【成虫の発生時期】

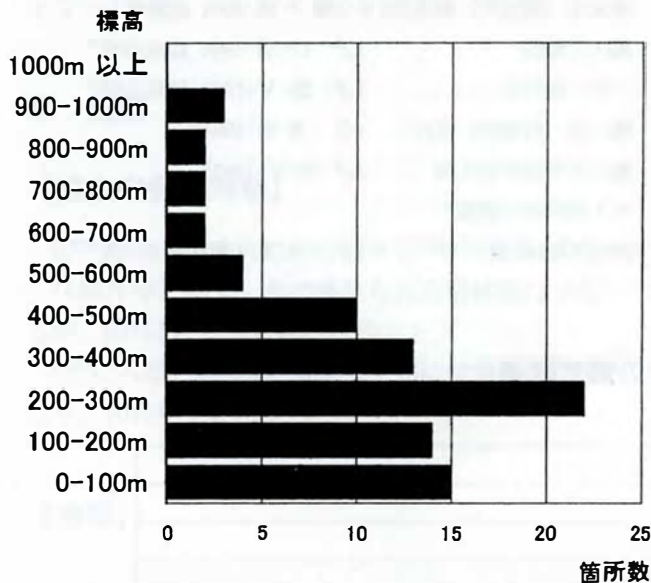
5月中下旬から6月にかけて年1回発生する。他のヒョウモン類にくらべると成虫の発生は早く、6月上旬が発生のピークで、6月中旬頃から見られる数は少なくなるものの、秋まで連続して見られ、9月末から10月上旬にやや多くなる。11月上旬の記録もある。

#### 【食草】

スマレ科植物を食草としているが、スマレの種については県内では確認されていない。



クモガタヒョウモンの県内分布



クモガタヒョウモンの垂直分布

【成虫の吸蜜植物】

県内で観察された吸蜜植物は次のとおりである。  
(ブナ科)クリ, (アオイ科)フヨウ<ピンク>, (キク科)ヨメナ,  
ヒヨドリバナ,

■ 採集記録

- 川西市芋生 2♂ 7-VI-1981 有田 斉<sup>96</sup>
- 川西市妙見新滝 1♂ 8-VI-1969 杠 隆史<sup>10</sup>
- ” 一庫 1♂ 13-VI-1958 山口福男<sup>10</sup>
- ” 黒川 2exs 2-VI-1996 木下修<sup>10</sup>
- 猪名川町民田 2♀ 3-VI-1978 木村雅英<sup>96</sup>
- ” 三草山 1♂ 14-VI-1986 緒方正雄<sup>10</sup>
- ” 大野山 1♂ 26-V-1985 長沼二郎<sup>10</sup>
- ” 上阿古谷<sup>96</sup>

- 宝塚市香合新田 10-X-1978<sup>10</sup>
- 三田市波豆川 1♀ 15-VI-1980 高島 昭<sup>10</sup>

【神戸市】

- 灘区六甲山高山植物園 1♀ 23-IX-1964<sup>10</sup>
- 中央区市ヶ原 1ex 29-V-1963 三木 進<sup>10</sup>
- 北区山田町 1♀ -VI-1961 山口福男<sup>10</sup>
- ” ” 山ノ街 1♀ 3-VI-1960 尾崎 勇<sup>10</sup>
- ” ” 谷上 1♂1♀ 4-VI-1961 尾崎 勇<sup>10</sup>
- ” 道場町生野 1♀ 14-X-1997 近藤伸一<sup>10</sup>
- 三木市鍛冶 1♀ -VI-1978 小倉 滋<sup>10</sup>
- 加古川市志方町城山 1♀ 8-VI-1946 山本広一<sup>10</sup>
- ” 志方町氷室 2♂ 29-V-1983 近藤伸一<sup>10</sup>
- ” 志方町 竹内俊行<sup>10</sup>
- 小野市小野 1♀ 22-IX-1970 木村三郎<sup>10</sup>
- 加西市青野が原 1♀ 22-IX-1970 木村三郎<sup>10</sup>
- 多可町加美区(加美町)千ヶ峰 3-V-1959<sup>10</sup>
- ” ” 三国岳<sup>10</sup>, 笠形山山麓<sup>10</sup>
- 姫路市西蒲田 1♂ 24-VI-1981 広畑政巳<sup>10</sup>
- ” 小原 1♀ 6-VI-1981 近藤伸一<sup>10</sup>
- ” 広峰山 1♂ 26-VI-1982 木村三郎<sup>10</sup>
- ” 増位山 1♂ 11-VI-1982 木村三郎<sup>10</sup>
- 姫路市夢前町雪彦山 1♂ 9-VI-1974 森下泰治<sup>10</sup>
- ” ” 小畑 2♀(目) 28-V-1989 石井為久<sup>10</sup>
- ” ” 菅生澗 1♀ 20-IX-1967 木村三郎<sup>10</sup>
- 福崎町山崎 2♂2♀(目) 4-VI-1976 石井為久<sup>10</sup>
- ” 七種山 2♂(目) 7-VI-1974 石井為久<sup>10</sup>
- 市川町下牛尾河内 1♂ 8-VI-1991 五十嵐喜昭<sup>96</sup>
- ” 上牛尾半瀬 1♂ 18-V-1994 広畑政巳<sup>10</sup>
- 神河町(神崎町)越知川上流 2♂1♀(目) 27-V-1989 石井為久<sup>10</sup>
- 神河町(大河内町)峰山高原 2♀ 14-VII-1968 相坂耕作<sup>10</sup>
- ” ” 大川原 2♂ 8-VI-1975 石井為久<sup>10</sup>



たつの市新宮町二栢野	1♂	15-V-1982	佐々木薫 <sup>10</sup>	高屋(金山)	23-V-1982	前平照雄 <sup>10</sup>
宍粟市山崎町梯	1♀	7-VI-1964	岩村 巖 <sup>10</sup>	豊岡市城崎町来日	1♂	10-VI-1975 木下賢司 <sup>10</sup>
” ” 蔦沢	2♂	31-V-1968	岩村 巖 <sup>10</sup>	豊岡市竹野町多谷	1♂1♀	30-V-1964 小崎茂樹 <sup>10</sup>
” ” 上万	1♂	19-V-1985	近藤伸一 <sup>10</sup>	豊岡市日高町栃本	1ex	11-VI-1981 福井丈嗣 <sup>10</sup>
” ” 大沢	1♀	22-V-1982	佐々木薫 <sup>10</sup>	” ” 金谷	1♀	5-VI-1973 木下賢司 <sup>10</sup>
宍粟市波賀町音水	1♂	20-V-1973	岩井信彦 <sup>10</sup>	” ” 山ノ宮(大岡山)5♂	6-VI-1991	木下賢司 <sup>10</sup>
” ” 引原	1♀	27-VIII-1981	相坂耕作 <sup>10</sup>	” ” 阿瀬溪谷	5-VI-1973	木下賢司 <sup>10</sup>
宍粟市千種町鷹巣	1♂	26-V-1985	広畑政巳 <sup>10</sup>	” ” 名色	1♂	9-VIII-1987 近藤伸一 <sup>10</sup>
相生市三濃山	1♀	20-V-1973	米村和繁 <sup>10</sup>	” ” 三川山	1♀	5-X-2002 近藤伸一
” 矢野町能下	1♂	9-VI-1963	唐土洋一 <sup>10</sup>	豊岡市出石町桐野	1♂1♀	8-VI-1977 木下賢司 <sup>10</sup>
赤穂市西有年	1♂	18-V-1994	広畑政巳 <sup>10</sup>	香美町香住区(香住町)今子浦	1♀	13-VI-1984 二宗誠治 <sup>10</sup>
” 中山	1♀	10-X-1965	岩村 巖 <sup>10</sup>	香美町村岡区(村岡町) 耀山	1♀	3-VII-1979 木下賢司 <sup>10</sup>
上郡町鞍居	1♂	2-VI-1968	米村和繁 <sup>10</sup>	香美町小代区(美方町) 鍛冶屋	4-VII-1981	島田真輔 <sup>10</sup>
” 富満	1♂	2-VI-1963	岩村 巖 <sup>10</sup>	新温泉町(新温泉町) 熊谷次熊	14-VI-1991	永幡嘉之 <sup>10</sup>
” 大杉野	1♀	2-VI-1963	岩村 巖 <sup>10</sup>	” ” 春来	1♂1♀	16-VIII-1980 佐々木薫 <sup>10</sup>
” 八保丙(皆坂)	1♂	24-IX-1984	清水幸三 <sup>10</sup>	新温泉町(浜坂町) 城山	2♂	6-VI-1992 永幡嘉之 <sup>10</sup>
佐用町(上月町)上秋里	1♂	30-VIII-1981	広畑政巳 <sup>10</sup>	” ” 居組	1♀	17-VI-1993 永幡嘉之 <sup>10</sup>
” ” 下秋里	1♀	23-VI-1972	米村和繁 <sup>10</sup>	朝来市生野町段が峰	1♂	23-VI-1963 尾崎 勇 <sup>10</sup>
” ” 久崎	1♀	6-VI-1961	岩村 巖 <sup>10</sup>	” ” 栃原	1♀	11-VI-1962 山口 福男 <sup>10</sup>
” ” 須山	1♂	19-V-1963	岩村 巖 <sup>10</sup>	朝来市(朝来町) 佐賀満	1♀	6-X-1996 近藤伸一 <sup>10</sup>
” ” 大日山 2♂1♀(目)	4-VI-1994	石井為久 <sup>10</sup>	養父市八鹿町妙見	1♂	26-V-2001 近藤伸一	
” ” 西新宿	1♂	29-V-1982	高島 昭 <sup>10</sup>	” ” 奥三谷	1♀	3-VI-2001 近藤伸一
” ” 尾崎	1♀	18-VI-1997	大東康人 <sup>10</sup>	養父市大屋町加保坂	1♂	13-VIII-1984 近藤伸一 <sup>10</sup>
” ” 宇根別当	1♂	17-V-1997	大東康人 <sup>10</sup>	” ” 杉沢	1♀	26-IX-1982 近藤伸一 <sup>10</sup>
佐用町(三日月町)三原	1♂1♀	19-V-1963	岩村 巖 <sup>10</sup>	” ” 横行	1♀	18-VI-1983 高島 昭 <sup>10</sup>
” ” 三ツ尾	1♂	19-V-1963	岩村 巖 <sup>10</sup>	養父市(藪宮町) 鑄原	1♀	7-VII-2004 近藤伸一
佐用町 上石井	1♂	13-VI-1959	岩村 巖 <sup>10</sup>	篠山市籠坊	1♂	11-VI-1995 森地重博 <sup>10</sup>
” 青木	1♀	22-VI-1963	岩村 巖 <sup>10</sup>	” 後川上	1♂	25-V-1997 鍋島五郎 <sup>10</sup>
” 平谷	1♀	21-VI-1961	尾崎 勇 <sup>10</sup>	篠山市(丹南町) 佳	1♀	6-VI-1994 <sup>10</sup>
” 奥海	1♂	4-VI-1989	森下泰治 <sup>10</sup>	篠山市今田町四斗谷	1♂	10-V-1997 <sup>10</sup>
” 奥長谷	1♂	9-VI-1979	高島 昭 <sup>10</sup>	氷上郡竹田川流域 <sup>10</sup>		
豊岡市妙楽寺	1♀	9-VI-1963	木下賢司 <sup>10</sup>	洲本市中河原町	1♀	3-X-1952 堀田 久 <sup>10</sup>
” 三開山	2♂	29-V-1963	木下賢司 <sup>10</sup>			

クモガタヒョウモンの周年経過

発生個体数



## 66 ミドリヒョウモン

(*Argynnis paphia tsushimana*)

### ■ 分布の状況

国外では朝鮮半島、台湾、中国大陸などに分布する。国内では北海道、本州、四国、九州のほぼ全域に分布する。

県内のほぼ全域に広く分布し、山地から平地にかけて見られる。他のヒョウモン類同様に近年は個体数を減じているが、県内の大型ヒョウモン類の中では、ツマグロヒョウモンに次いで分布域は広く、個体数も比較的多い。淡路島にも広く分布する。しかし本種も近年減少が進み、特に県南部では著しい。

### ■ 生息環境

草原環境に生息しているが、他の大型ヒョウモン類とくらべると森林の環境を好み、森林内の空間、溪流沿い、林道、集落周辺の様々な環境で見られ、広い草原にも吸蜜に訪れる。秋には市街地で見られることもある。

垂直分布は1000m以上の高地から100m以下の低地まで分布しているが、200m以下付近が垂直分布の中心となっている。

### ■ 生態

#### 【成虫の発生時期】

6月上旬～7月中旬にかけて年1回発生する。発生のピークは6月中下旬で、その後見られる個体数は少なくなるが、8月に入っても見られる。

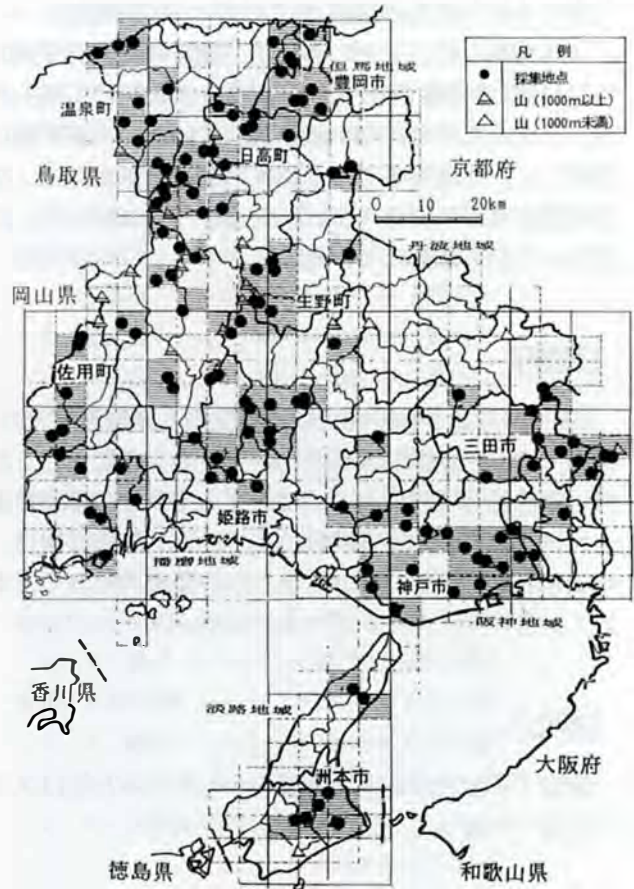
9月に入ると再びあられ、下旬には個体数が最大となり、10月中旬には見られなくなる。

#### 【食草】

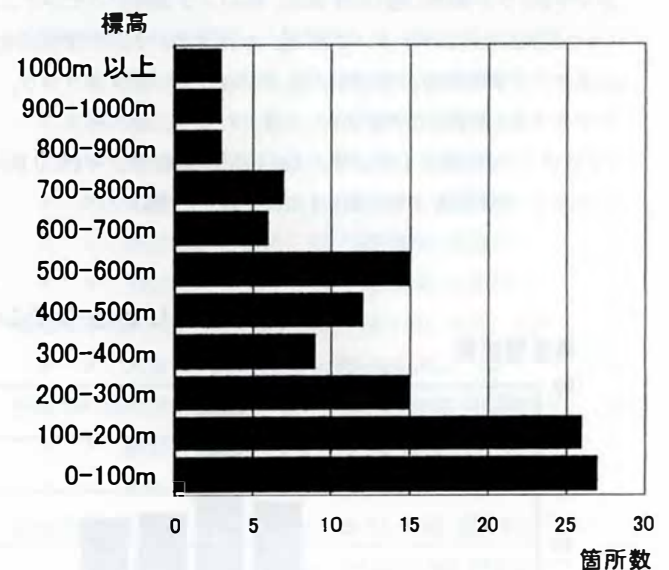
スマレ科植物を食草としているが、スマレの種については県内では確認されているのはタチツボスマレだけである。

#### 【交尾】

1981年姫路市安富町三坂と、1980年姫路市夢前町菅



ミドリヒョウモンの県内分布



ミドリヒョウモンの垂直分布



生澗の木村三郎氏の観察では 交尾の飛翔形式は ←♂+♀であった。しかし養父市(関宮町)別宮で2002年7月12日の観察では、当初♀が♂をぶら下げて飛んだり、とまったりを何回か繰り返していたが、♂が急に反転して、♀をぶら下げたまま飛び去ったように、交尾飛翔形式が「←♀+♂」から途中で「←♂+♀」に変わった例も観察している。

【産卵】

2001年9月23日14時40分頃の養父市八鹿町妙見での観察では、住居跡の草地に、カーテンのようにたらしした黒い寒冷紗(かんれいしや)にとまるやいなや繊維に産み付け、飛び去った。寒冷紗は高さ約2m、産卵位置は、地面から約1.5mであった。またこの草地にはタチツボスミレとニオイスミレが生えていた。

【孵化】

飼育下では卵期12日、卵殻を少しかじった他はスミレを食べず越冬した。

【成虫の吸蜜植物】

県内で観察された吸蜜植物は次のとおりである。  
 (フジウツギ科)フジウツギ, (ウルシ科)ヌルデ, (ウコギ科)ウド, (ミカン科)カラスザンショウ, (マメ科)コマツナギ, (クマツヅラ科)ランタナ<橙・ピンク>, コバノランタナ<ピンク>, (キク科)ヒヨドリバナ, ノアザミ, ヒヨドリバナ, アザミ, セイタカアワガチソウ, シオン, ヒメジョオン, オタカラコウ, アゲラタム(カッコウアザミ), マリ-ゴールド, コスモス  
 (サクランソウ科)オカトラノオ, (ユキノシタ科)ウツギ(セリ科)シシウド, セリ, (モクセイ科)イボタノキ(タデ科)ソバ

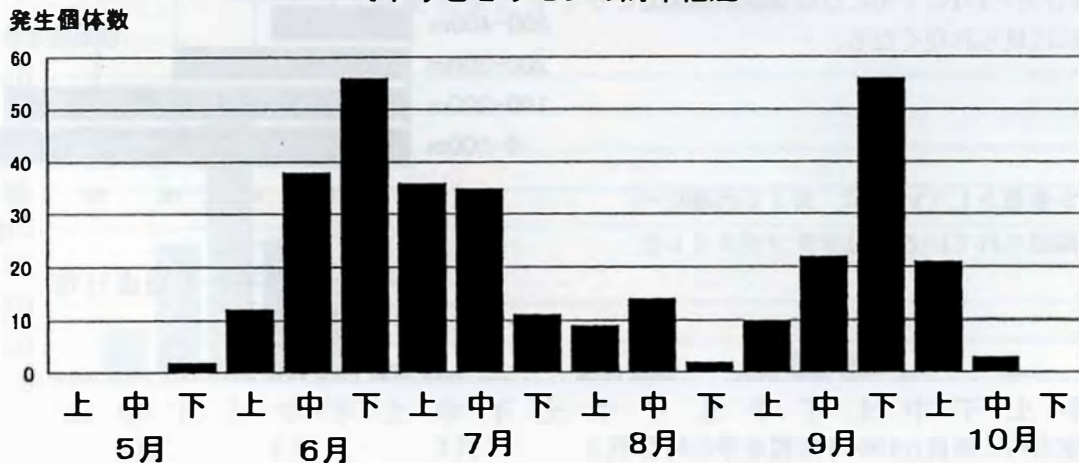
■ 採集記録

- 川西市花折橋 1ex 7-VII-1970 仲田元亮<sup>10</sup>
- ” 妙見新滝 3♂1♀ 21-IX-1975 勢山保範<sup>10</sup>
- ” 妙見山山上 6-IX-1970 仲田元亮<sup>10</sup>
- ” 笹部 15-IX-1976 仲田元亮<sup>10</sup>
- ” 黒川 2exs 23-IX-1996 木下修一<sup>10</sup>
- 猪名川町三草山 1♂ 16-VI-1971 杠 隆史<sup>10</sup>
- ” 大野山 3♀ 23-IX-1991 高橋邦明<sup>10</sup>
- ” 槻並 29-VI-1975 小坂利明<sup>10</sup>
- ” 内馬場 9-IX-1981 仲田元亮<sup>10</sup>
- 三田市ワケタケ -1994<sup>10</sup>
- 宝塚市西谷西部 1♂ 24-VI-1978<sup>10</sup>
- ” 香合新田 1♀ 2-X-1965<sup>10</sup>
- ” 清荒神 多数 9-X-1984 加藤信一<sup>10</sup>
- ” 大原野武田尾 1♀10-IX-2000法西 浩<sup>81</sup>
- 西宮市塩瀬町木之元 1♀ 1-X-2000法西 浩<sup>81</sup>
- 芦屋市三条山城 1♂ 12-VI-1983 西 隆広<sup>10</sup>

【神戸市】

- 六甲山 1♂ 16-VII-1952 吉坂道雄<sup>10</sup>
- 東灘区住吉川五助谷 1♀29-IX-1996<sup>10</sup>
- 灘区伯母野山付近 1♂ 8-VI-1965<sup>10</sup>
- ” 摩耶山 1♀ 9-VII-1951 吉坂道雄<sup>10</sup>
- 中央区諏訪山町 1♀ 16-X-1997 山口福男<sup>10</sup>
- 長田区一里山町 1♀ 25-VI-1954 松本健嗣<sup>10</sup>
- 西区榎谷町寺谷 1♂ 26-VI-2000 近藤伸一
- ” 岩岡町 1♀ 20-IX-1984 近藤伸一<sup>10</sup>
- 北区山田町森林植物園10♂3♀日撃 10-IX-2000 近藤伸一
- ” ” 箕谷 2♂2♀10-VII-1960 平尾栄治<sup>10</sup>
- ” 帝釈山 1♂ 16-VI-1994 平尾栄治<sup>10</sup>
- ” 有馬町六甲登山口1♂14-VIII-1960 尾崎 勇<sup>10</sup>
- ” 有野町逢山峡 1♂ 9-X-1960 尾崎 勇<sup>10</sup>

ミドリヒョウモンの周年経過



- 明石市松蔭新田 1♂ 21-VI-1959 尾崎 勇<sup>10</sup>  
 " 西朝霧丘大蔵中学校 2♂3-X-1963 大東康人<sup>10</sup>  
 三木市大村 1♀ 3-X-1987 永幡嘉之<sup>10</sup>  
 " 志染町中 -VI-1977 小倉 滋<sup>10</sup>  
 " 志染町戸田 -VI-1977 小倉 滋<sup>10</sup>  
 " 増田 -VI-1977 小倉 滋<sup>10</sup>  
 小野市来住町 1♀ 6-VII-1931 山本広一<sup>10</sup>  
 西脇市高松 19-VI-1959<sup>10</sup>  
 多可町加美区(加美町)荒田<sup>10</sup>  
 " 岩座神3♂2♀(目) 9-VII-1977 石井為久<sup>10</sup>  
 姫路市打越 1♂ 28-IX-1986 広畑政巳<sup>10</sup>  
 " ソーメン滝 2♂2♀(目) 18-VI-1983 石井為久<sup>10</sup>  
 " 林田町松山1♂ 23-IX-2001 広畑政巳<sup>569</sup>  
 姫路市香寺町久畑 1♂1♀ 17-VI-1979 高島 昭<sup>10</sup>  
 姫路市夢前町山富 1♀ 21-VI-1975 佐々木薫<sup>10</sup>  
 " " 菅生淵 1♂1♀ 29-VI-1980 木村三郎<sup>10</sup>  
 " " 雪彦山 1♀ 27-IX-1987 森下泰治<sup>10</sup>  
 姫路市安富町関 1♂ 21-VIII-1982 広畑政巳<sup>10</sup>  
 " " 三坂 1♂1♀ 12-VII-1981 木村三郎<sup>10</sup>  
 福崎町七種山 2♂1♀(目)24-IX-1984 石井為久<sup>10</sup>  
 " 七種 1♀ 24-VI-1976 森下泰治<sup>10</sup>  
 " 新町 1♀(目) 24-IX-1984 石井為久<sup>10</sup>  
 " 山崎 1♂(目) 15-VI-1976 石井為久<sup>10</sup>  
 市川町上牛尾半瀬 1♂ 18-VI-1993 広畑政巳<sup>10</sup>  
 " 上牛尾岩戸 2♀ 11-VII-1993 広畑政巳<sup>10</sup>  
 " 下牛尾河内 1♂ 29-VI-1993 広畑政巳<sup>10</sup>  
 " 谷 1♂(目) 3-VI-1994 石井為久<sup>10</sup>  
 神河町(大河内町)砥峰 1♂ 9-VIII-1981 広畑政巳<sup>10</sup>  
 " " 峰山 2♂1♀ 23-VII-1962 岩村 巖<sup>10</sup>  
 宍粟市山崎町梯 2♂ 7-VI-1964 岩村 巖<sup>10</sup>  
 " " 五十波 1♂ 6-VII-1976 平尾栄治<sup>10</sup>  
 宍粟市一宮町千町峰2♂2♀(目) 1-IX-1991 石井為久<sup>10</sup>  
 " " 福知 1♂ 3-VII-2001 近藤伸一  
 宍粟市波賀町道谷 1♀ 3-X-1982 広畑政巳<sup>10</sup>  
 " " 坂の谷林道 1♂ 7-IX-1986 広畑政巳<sup>10</sup>  
 " " 引原 2♂ 1-VIII-1957 山口福男<sup>10</sup>  
 " " 音水 1♀ 14-VII-1969 相坂耕作<sup>10</sup>  
 " " 東山高原2♂(目) 15-VII-1978 石井為久<sup>10</sup>  
 宍粟市千種町鷹巢 1♀ 2-VIII-1981 近藤伸一<sup>10</sup>  
 " " 千草 1♀ 29-VI-1971 山口福男<sup>10</sup>  
 相生市三濃山 2♂ 30-IX-1972 岩井信彦<sup>10</sup>  
 " 陸光明山 1♂ 12-VI-1974 佐々木薫<sup>10</sup>  
 赤穂市尾崎 1♀ 28-IX-1963 西垣憲治<sup>10</sup>  
 " 周世 1♂ 15-VI-1965 岩村 巖<sup>10</sup>  
 " 富原 1♂ 23-IX-1972 松村邦正<sup>10</sup>  
 上郡町栢野 1♀ 16-X-1983 広畑政巳<sup>10</sup>  
 " 黒石 1♀ 22-VII-1984 壘谷 健<sup>10</sup>  
 佐用町(上月町)下秋里 2♂ 25-VI-1979 広畑政巳<sup>10</sup>  
 " " 上秋里 1♂(目) 24-VI-1984 石井為久<sup>10</sup>  
 佐用町若州 1♂ 22-VI-1980 広畑政巳<sup>10</sup>  
 " 上石井 1♂ 19-VI-1977 森下泰治<sup>10</sup>  
 " 大撫山 1♂ 23-VI-1979 高島 昭<sup>10</sup>  
 豊岡市妙楽寺 2♂ 14-VI-1963 木下賢司<sup>10</sup>  
 " 三開山 1♀ 30-VI-1963 木下賢司<sup>10</sup>  
 " 愛宕山 1♂ 23-VI-1965 木下賢司<sup>10</sup>  
 " 伊賀谷 1♀ 24-VI-1964 木下賢司<sup>10</sup>  
 " 瀬戸 1♂ 12-VI-1982 福井丈嗣<sup>10</sup>  
 " 戸牧 1♀ 9-VIII-1989 近藤伸一<sup>10</sup>  
 豊岡市城崎町来日 1♂ 19-VI-1975 木下賢司<sup>10</sup>  
 " " 来日岳 1♂ 22-VI-1980 福井丈嗣<sup>10</sup>  
 豊岡市竹野町須谷1♂1♀ 24-VI-1963 小崎茂樹<sup>10</sup>  
 豊岡市出石町東床ノ尾山 1♀ 27-VI-1977 木下賢司<sup>10</sup>  
 " " 奥山 1♂ 16-VII-1981 福井丈嗣<sup>10</sup>  
 豊岡市日高町栃本 1♂ 17-VI-1985 福井丈嗣<sup>10</sup>  
 " " 鶴岡 2♂ 22-VI-1979 福井丈嗣<sup>10</sup>  
 " " 山宮 1♂1♀ 27-VI-1985 木下賢司<sup>10</sup>  
 " " 大岡山大岡寺跡 ♂♀ (撮)  
 9-VI-1994 木下賢司<sup>10</sup>  
 " " 神鍋山 1♂ 7-VII-1990 木下賢司<sup>10</sup>  
 " " 金山 15-IX-1973 中村ひとみ<sup>10</sup>  
 " " 三川山2♂2♀(目)13-VII-1994 石井為久<sup>10</sup>  
 " " 名色 1♀ 22-IX-2001 近藤伸一  
 " " 稲葉 1♀ 22-IX-2001 近藤伸一  
 香美町村岡区(村岡町)大笹1♀15-VII-1985 福井丈嗣<sup>10</sup>  
 " " 兎和野 3♂1♀ 19-VII-1992 永幡嘉之<sup>10</sup>  
 " " 耀山 1♀ 4-VII-1987 近藤伸一<sup>10</sup>  
 " " 空山蘇武西面 1♂ 7-VII-2001 近藤伸一  
 " " 和池 1♀ 5-X-2001 近藤伸一  
 " " 銚子ガ谷 1♂ 15-VI-2002 近藤伸一  
 " " 和佐父 1♂ 15-VI-2002 近藤伸一  
 香美町小代区(美方町)鍛冶屋 4-VII-1981 加野 正<sup>10</sup>  
 " " 大谷 1ex(目撃)9-VII-1995 西口 隆<sup>569</sup>  
 新温泉町(浜坂町)城山 4♂ 23-VI-2001 近藤伸一  
 " " 観音山 1♀ 6-VII-1986 木下賢司<sup>10</sup>  
 " " 居組 1♀ 2-VII-1992 川元 裕<sup>10</sup>  
 新温泉町(温泉町)美原 1ex 29-VI-1983 黒井和之<sup>10</sup>  
 " " 楡尾 1ex 20-VI-1985 黒井和之<sup>10</sup>  
 " " 海上 1♂ 16-VIII-1991 永幡嘉之<sup>10</sup>  
 " " 飯野 1♂ 6-VII-1993 永幡嘉之<sup>10</sup>  
 " " 肥前畑 1♂ 18-VII-1992 永幡嘉之<sup>10</sup>  
 " " 美方高原 2♂1♀(目) 9-VII-1978 石井為久<sup>10</sup>  
 " " 上山高原 多数目撃 21-VII-2002 近藤伸一



〃 〃 海上林道終点	21-VII-2002	近藤伸一
朝来市和田山町糸井	4exs 26-VI-2001	近藤伸一
朝来市山東町一品	1♂ 10-VI-2001	近藤伸一
〃 〃 与布土	1♂ 29-IX-2001	近藤伸一
朝来市(朝来町)佐中	1♂ 21-VII-1997	近藤伸一 <sup>10</sup>
〃 〃 佐養	1♀ 6-X-1996	近藤伸一 <sup>10</sup>
〃 〃 神子畑	2♂(目) 17-VI-1994	石井為久 <sup>10</sup>
朝来市生野町段ヶ峰	1♂ 7-VII-1961	岩村 巖 <sup>10</sup>
〃 〃 栢原高原	2♂2♀(目) 17-VII-1977	石井為久 <sup>10</sup>
養父市八鹿町加瀬尾	2♀ 24-VI-2001	近藤伸一
〃 〃 妙見	1♂ 24-VI-2001	近藤伸一
〃 〃 坂本	1♀ 11-VI-2001	近藤伸一
〃 〃 石原	6exs 23-IX-2001	近藤伸一
養父市大屋町杉ヶ沢	1♀ 27-IX-1981	近藤伸一 <sup>10</sup>
〃 〃 加保坂	1♂ 26-IX-1993	近藤伸一 <sup>10</sup>
〃 〃 藤無山	1♂ 6-VII-1998	竹内俊行 <sup>10</sup>
〃 〃 横行	1♂ 4-VII-2001	近藤伸一
養父市(関宮町)杉ヶ沢高原	1♀ 22-VI-1980	相坂耕作 <sup>10</sup>
〃 〃 鉢伏高原	1♀ 2-VIII-1971	山口福男 <sup>10</sup>
〃 〃 葛畑	1♀ 27-IX-1981	近藤伸一 <sup>10</sup>
〃 〃 福定	1♂1♀ 25-VII-1986	永幡嘉之 <sup>10</sup>
〃 〃 氷ノ山東根根	2♂1♀ 25-VII-1986	永幡嘉之 <sup>10</sup>
〃 〃 尾崎	1♂ 28-V-2001	近藤伸一
〃 〃 別宮	1♂1♀ 12-VII-2002	近藤伸一
〃 〃 鶴縄	1♂目撃 21-VII-2002	近藤伸一
丹波市青垣町粟鹿山	1♂ 9-VII-1978	平尾栄治 <sup>10</sup>
篠山市籠坊	6♂3♀ 18-IX-1994	森地重博 <sup>10</sup>
〃 後川新田	1♀ 28-IX-1997	梶 隆史 <sup>10</sup>
篠山市(丹南町)住山	1♂ 6-VI-1994 <sup>10</sup>	
氷上郡竹田川流域 <sup>10</sup>		
洲本市宇原	3♂1♀ 19-VIII-1990	菊地宏美 <sup>10</sup>
〃 栢原山	1♂ 11-IX-1992	交告尚史 <sup>10</sup>
〃 鮎屋ダム		菊地宏美 <sup>10</sup>
淡路市(津名町)妙見山	1♀ 14-VIII-1951	堀田 久 <sup>10</sup>
淡路市(北淡町)常隆寺山	2♀ 11-IX-1977	近藤伸一 <sup>10</sup>
南あわじ市(緑町)初尾ダム		菊地宏美 <sup>10</sup>
南あわじ市(三原町)成相溪谷		菊地宏美 <sup>10</sup>

## \*その他

### 暗緑色型の採集記録

養父市(大屋町)杉ヶ沢 1♀ 22-VI-1980 相坂耕作

香美町小代区(美方町)新屋 1♀ 2-VII-2005 近藤伸一

中国・近畿地方の一部に産するメスの中にはまれに、翅表の地色が橙色味を欠き、暗緑色のものが見られる。これは遺伝的な現象とされている。

## 67 ウラギンヒョウモン

(*Fabriciana adippe pallescens*)

### ■ 分布の状況

国外では朝鮮半島、中国からヨーロッパに分布する。国内では北海道、本州、四国、九州の平地、山地に広く分布する。

県内では、淡路島以外の全域に広く分布しているが、県中部の播州高原から北部但馬地域の山地に分布が集中し、個体数も比較的多い。県南部の各地では近年激減し、全く見られなくなった地域も多い。

六甲山系では、最高峰の東にある石の宝殿から東お多福山にかけて1980年代の初め頃までよく見られたが、1993年に西隆弘氏の目撃を最後に採集記録を聞かない。

### ■ 生息環境

ウラギンヒョウモンの幼虫の食餌植物はスミレ類で、スミレ類が繁茂するような明るい草原、河川敷、湿地性草原や牧場跡、スキー場など草原環境が維持されている場所に生息する。垂直分布表をみると、低地から高標高地まで高さに関係なく分布しているが、近年草原環境の減少に伴い各地で姿を消し、特に低地での減少が著しい。一般に高地では他のヒョウモン類より多い。

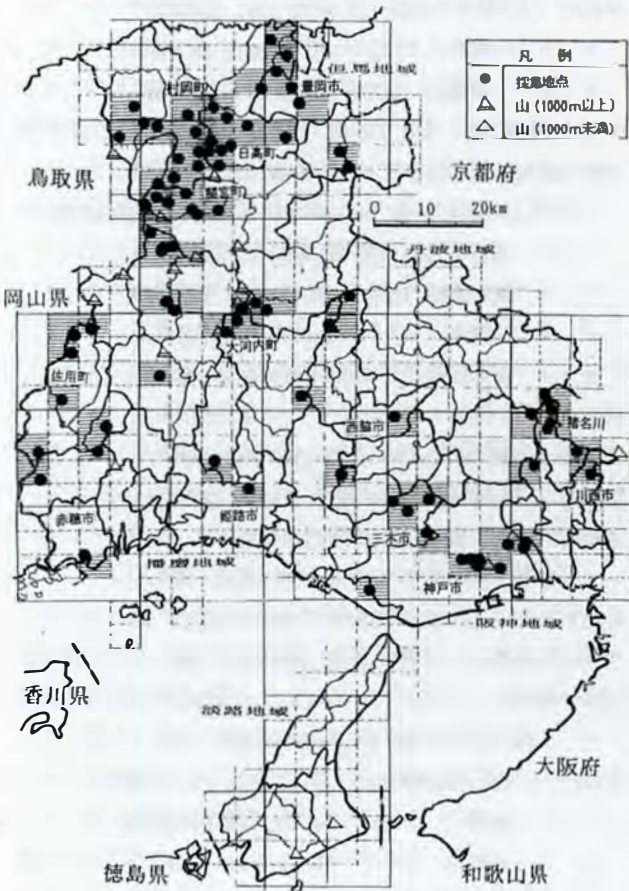
### ■ 生態

#### 【成虫の発生時期】

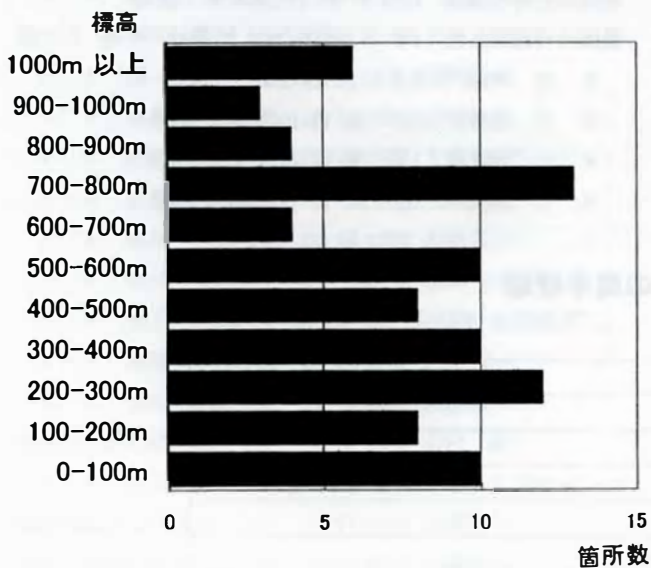
6月中旬～7月下旬にかけて年1回発生する。発生のピークは6月下旬から7月上旬にかけてで、養父市八鹿町加瀬尾地区の混生地での観察によると、オオウラギンスジヒョウモンと本種では、オオウラギンスジヒョウモンより本種の発生が約1週間遅れる。

#### 【産卵の観察例】

① 2001年9月22日13時19分から22分にかけての豊岡市日高町名色での観察では、林縁にある草地で、腹部を立てて、腹端を枯れ草にこするように歩きまわり、止まっては産卵し、また歩くというようにして数回産卵した。この草地にスミレ類は見られなかった。



ウラギンヒョウモンの県内分布



ウラギンヒョウモンの垂直分布

② 2001年9月23日13時30、養父市八鹿町加瀬尾での観察では、田の畦畔の刈り込まれた草地で、2♀が産卵を行った。行動は前記と同じで、この草地にはニョイスミレとタチツボスミレが見られた。

③ 同地での2001年10月28日12時23分から26分にかけての観察では、栗園と畑の間にある畦畔の草地で産卵した。この草地に生えていたのはニョイスミレであった。秋も深まったこの時期まで産卵をするようで、同じ場所で元気な別個体の♀を確認した。



養父市八鹿町加瀬尾 2001年9月22日 産卵

【食餌植物】

スミレ科植物を食草としているが、スミレの種については県内では確認されていない。

飼育下では各種のスミレを与えれば成長するが、オオウラギンヒョウモンと同様に、スミレを好む傾向がある。また発生地である八鹿町加瀬尾の果樹園ではニョイスミレが特に多く分布しており、当地ではニョイスミレが主要な食餌植物になっているものと思われる。

【成虫の吸蜜植物】

県内で観察された吸蜜植物は次のとおりである。  
 (ブナ科)クリ、(キク科)ヒヨドリバナ、アザミ、ノハラアザミ、キセルアザミ、ヒャクニチソウ、ヒヨドリバナ、(ナデシコ科)ムシトリナデシコ、(タデ科)イタドリ、ソバ、(サクラソウ科)オカトラノオ、(ユキノシタ科)ウツギ



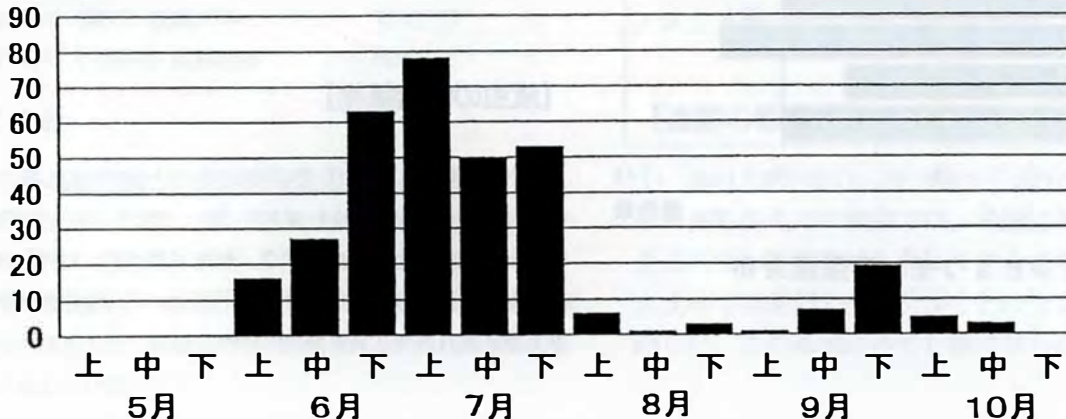
■ 採集記録

川西市山下 7-VI-1964 岡田俊典<sup>9</sup>  
 猪名川町上阿古谷 16-VI-1968 仲田元亮<sup>9</sup>  
 " 仁頂寺 15-VI-1980 森地重博<sup>9</sup>  
 " 杉生新田 6-VI-1982 小坂利明<sup>9</sup>  
 " 柘原(大野山) 25-VII-1982 小坂利明<sup>9</sup>  
 " 鎌倉 1♂ 25-VI-1994<sup>9</sup>  
 宝塚市北部西谷<sup>9</sup>  
 " 大原野 5-VII-1981 平尾英治<sup>9</sup>  
 芦屋市石宝殿 1♀ 10-VII-1983 西 隆広<sup>9</sup>  
 " 東お多福山 西 隆広<sup>9</sup>  
 【神戸市】  
 " 一の鳥居 13-VI-1948 吉坂道雄<sup>9</sup>  
 " 六甲山 1♀ 21-VII-1951 吉坂道雄<sup>9</sup>  
 北区小部峠 1♂ 13-VI-1960 尾崎 勇<sup>9</sup>  
 " 有野町逢山峡 1♀ 14-VI-1960 尾崎 勇<sup>9</sup>  
 " 山ノ街 2♀ 2-VII-1950 吉坂道雄<sup>9</sup>  
 " 森林植物園1♂1♀ 21-VI-1964 三木 進<sup>9</sup>  
 " 教育植物園 1♂ 27-VII-1987 山下剛史<sup>9</sup>  
 明石市松蔭新田 1♀ 21-VI-1959 尾崎 勇<sup>9</sup>  
 三木市善祥寺 1♀ 3-X-1983 永幡嘉之<sup>9</sup>  
 " 戸田 -VI-1977 小倉 滋<sup>9</sup>  
 " 脇川 -VI-1977 小倉 滋<sup>9</sup>  
 " 増田 -VI-1977 小倉 滋<sup>9</sup>  
 小野市 山本広一<sup>9</sup>  
 " 青野原 1♂ 9-VI-1985 近藤伸一<sup>9</sup>  
 西脇市比延 徳岡正巳<sup>9</sup>  
 多可町加美区(加美町)三国岳 3-VI-1959 猪俣涼一<sup>9</sup>  
 " 千ヶ峰<sup>9</sup>  
 姫路市増位山 木村三郎<sup>9</sup>  
 市川町上牛尾 1♂ 16-IX-1984 広畑政巳<sup>9</sup>

神河町(大河内町)砥峰 1♂ 9-VII-1981 広畑政巳<sup>9</sup>  
 " " 峰山 2♂ 15-VII-1973 森下泰治<sup>9</sup>  
 " " 長曾 1♂1♀ 2-VII-1975 石井為久<sup>9</sup>  
 宍粟市山崎町梯 1♂ 25-VII-1959 岩村 巖<sup>9</sup>  
 宍粟市波賀町道谷 1♀ 3-X-1982 広畑政巳<sup>9</sup>  
 " " 戸倉スキ場 1♂2♀ 30-VI-1996 大東康人<sup>9</sup>  
 " " 水谷 1ex 20-VII-1986 二宗誠治<sup>9</sup>  
 " " 東山高原 1♂1♀ 15-VII-1978 石井為久<sup>9</sup>  
 " " 戸倉 4-VII-1976 平尾英治<sup>9</sup>  
 " " 坂の谷 1♂ 8-VII-1979 高島 昭<sup>9</sup>  
 相生市 唐土洋一<sup>9</sup>  
 赤穂市上飯屋 1♂ 31-VII-1962 滝井邦興<sup>9</sup>  
 佐用町(三日月町)広山 1ex撮影 19-X-1997 唐土洋一<sup>9</sup>  
 上郡町八保丙(皆坂)1♀23-IX-1984 唐土洋一<sup>9</sup>  
 " 富満 1♂ 5-VII-1982 高島 昭<sup>9</sup>  
 佐用町若州 1♂ 22-VI-1980 広畑政巳<sup>9</sup>  
 " 日名倉山 5♀ 16-VII-1967 岩村 巖<sup>9</sup>  
 " 青木 1♂ 12-VI-1977 石井為久<sup>9</sup>  
 " 大撫山 3♂ 23-VI-1979 高島 昭<sup>9</sup>  
 佐用町(上月町)西新宿 1♂ 3-VI-1973 佐々木薫<sup>9</sup>  
 " " 福田 2♂ 15-VI-1982 前平照雄<sup>9</sup>  
 " " 矢次山 23-VI-1968 吉田<sup>9</sup>  
 " " 伊賀谷 23-VI-1968 吉田<sup>9</sup>  
 豊岡市妙楽寺 1♂ 14-VI-1963 木下賢司<sup>9</sup>  
 豊岡市城崎町来日岳 1♂ 29-VI-1985 松村秀行<sup>9</sup>  
 豊岡市竹野町須谷 1♂1♀ 16-VI-1964 木下賢司<sup>9</sup>  
 豊岡市日高町名色 1♀ 22-IX-2001 近藤伸一<sup>236</sup>  
 " " 神鍋 2♀ 22-IX-2001 近藤伸一<sup>9</sup>  
 " " 金谷 2♂ 25-VI-1963 木下賢司<sup>9</sup>  
 " " 蘇武岳 1♀ 26-VI-1978 福井丈嗣<sup>9</sup>  
 " " 鶴岡 1♂ 22-VI-1979 福井丈嗣<sup>9</sup>

ウラギンヒョウモンの周年経過

発生個体数



山宮	1♂	27-VI-1984	木下賢司 <sup>9</sup>
阿瀬溪谷		25-VI-1963	木下賢司 <sup>9</sup>
三川山	1♂	29-VI-1994	石井為久 <sup>9</sup>
稲葉	多数目撃	8-VI-2002	近藤伸一
豊岡市出石町東床尾山山頂	1♀	27-VI-1977	木下賢司 <sup>9</sup>
桐野谷		22-VII-1976	谷角素彦 <sup>9</sup>
香美町村岡区(村岡町)金山峠	2♂	7-VII-2001	近藤伸一
黒田	2♂	19-VII-1992	永幡嘉之 <sup>9</sup>
村岡坂中	1♂	27-VI-1992	永幡嘉之 <sup>9</sup>
相岡	1♂	25-VI-1992	永幡嘉之 <sup>9</sup>
相大池	1♂	23-VI-2001	近藤伸一
兎和野	1♂	4-VII-1992	永幡嘉之 <sup>9</sup>
和佐父	4♂	6-VII-1992	永幡嘉之 <sup>9</sup>
大笹鉢北	6♂	6-VII-1992	永幡嘉之 <sup>9</sup>
耀山	1♂	25-VI-1983	福井丈嗣 <sup>9</sup>
空山蘇武西面	3♂	7-VII-2001	近藤伸一
銚子谷	3♂	7-VII-2001	近藤伸一
香美町小代区(美方町)新屋	多数目撃	4-VII-2004	近藤伸一
新温泉町(温泉町)丹戸	10♂1♀	25-VI-1992	永幡嘉之 <sup>9</sup>
扇ノ山上山	2♂1♀	29-VI-1991	永幡嘉之 <sup>9</sup>
美原高原	1♂	23-VI-2001	近藤伸一
海上林道終点多数目撃		21-VII-2002	近藤伸一
養父市八鹿町妙見	1♂	16-VI-2001	近藤伸一
加瀬尾	2♀	28-X-2001	近藤伸一 <sup>26</sup>
坂本	1♀	11-VI-2001	近藤伸一
養父市大屋町加保坂	1♀	11-X-1992	大東康人 <sup>9</sup>
杉次	多数目撃	30-VI-2001	近藤伸一
養父市(関宮町)葛畑	10♂目撃	30-VI-2001	近藤伸一
森	1♀	12-IX-1986	近藤伸一 <sup>9</sup>
鉢高原	3♂目撃	30-VI-2001	近藤伸一
鉢伏山山頂	3exs	23-VII-1964	大東康人 <sup>9</sup>
氷ノ山大平頭	1♂	12-VII-1992	永幡嘉之 <sup>9</sup>
福定	1♀	26-VII-1986	永幡嘉之 <sup>9</sup>
氷ノ山東尾根	1♂1♀	25-VII-1986	永幡嘉之 <sup>9</sup>
氷ノ山山麓スキー場	1♀	25-VII-1986	永幡嘉之 <sup>9</sup>
葛畑	多数目撃	12-VII-2002	近藤伸一
別宮	多数目撃	12-VII-2002	近藤伸一
朝来市生野町段ヶ峰	1♂	5-VII-1959	岩村 巖 <sup>9</sup>
榑原ゴルフ場付近	3exs	22-VI-1968	大東康人 <sup>9</sup>
朝来市栲田山町糸井	1♂	26-VI-2001	近藤伸一
丹波市青垣町稲土	1♀	10-VI-2001	近藤伸一
篠山市(篠山町)笹坊		13-IX-1980	森地重博 <sup>9</sup>
後川新田	1♂	14-VI-1997	鍋島 <sup>9</sup>

## 68 オオウラギンヒョウモン

(*Fabriciana nerippe*)

### ■ 分布の状況

#### 【分布】

国外では朝鮮半島、中国大陸(西、中、東北部)ウスリー、アムール、チベット東部などに分布する。

国内では本州・四国・九州に分布していた。東北・北陸地方は分布は広いが産地は局限され、近畿地方以西、九州には比較的産地が多かった。南限は鹿児島市、鹿屋市となっているが、種子島、屋久島にも古い記録あるようである。しかし1960年代から全国的に減少し、現在では日本の蝶の中では絶滅寸前の代表種で、環境省のレッドリストでは絶滅危惧Ⅰ類に選定されている。

兵庫県においても、過去には県内一円に広く分布し、生息地では個体数も多かったが、近年は激減して兵庫県版レッドデータブックではAランクに選定されている。

垂直分布は1000m以上の高地から100m以下の低地まで分布し、100m以下の低地に産地が多かった。

#### 【県内の激減した経過】

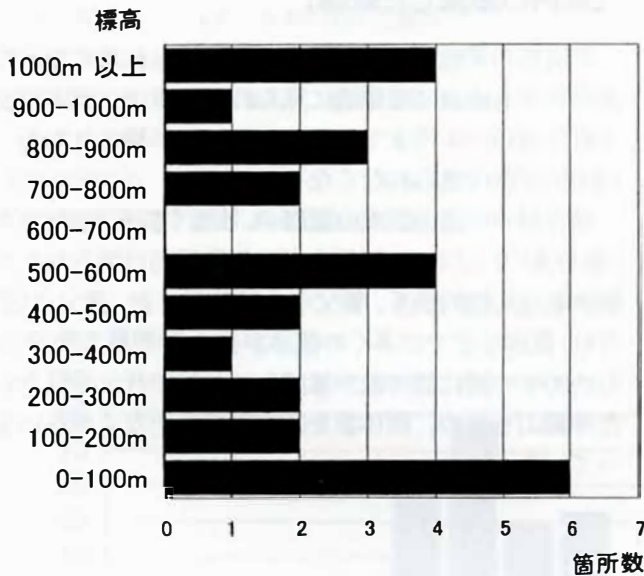
県南部の平地では1960年代頃から見られなくなった。淡路島でも過去には普通に見られたようで、洲本市安乎町では1950年代まではかなりの個体が得られたが1960年以降は見られなくなった。

県北部の中国山脈東山麓部の、牧場や採草地跡(スキー場が多い)では1970年代までは生息場所は限られたが個体数は比較的多く、養父市大屋町杉ヶ沢、養父市(関宮町)葛畑などでは多くの個体が見られたが、1979年から1980年の間に個体数が激減し、1980年代に発見された神鍋山も含め、個体数を回復することなく現在に至っている。





オオウラギンヒョウモンの県内分布



オオウラギンヒョウモンの垂直分布

【激減した理由】

スミレの茂る草原の消滅

本種の主要な食草とするスミレが成育するには、十分な太陽の光を受け、かつ初夏からは地表面を覆う背丈の植生が一面に成育し、しかもそのような状況が数十年と継続的に維持されることが必要条件となる。

このような草地は定期的な草刈りや火入れなどの人為的な管理を加えなければ維持できない。年1回以上の草刈りが定期的に行われなければ木本類などが侵入し、ブッシュ状態になってしまい、スミレは消滅してしまう。

以前は河川の土手、田畑の畦畔、牧場、採草地などスミレの草原が集落周辺にあったが、近年社会環境の変化にともなって草刈りが行われなくなり、このような草地の環境が無くなった結果、全国的に草地をすみかとするヒョウモン類が減少した。本種はその代表的な蝶である。

但馬地方では放牧場や採草地がそのままスキー場に移した場所や、近年まで放牧が行われていた場所、草原が他の地域にくらべると多かった。それが他の地区と比較して本種の生息地が最近まで残っていた理由である。

乱獲の影響

本種はヒョウモンモドキについて、絶滅が心配される1種である。特に本種は生息地の環境の変化もさることながら、乱獲による影響も大きいことを付記しておきたい。

採集されるのは美しく大きい雌ばかりで、それも採集しやすい草原で、その上、羽化後日長が短くなり気温が低下する9月中下旬ごろまで卵巣が発達せず卵を産まないという宿命にあり、その間に採集されてしまうケースが多い。

県北部、養父市大屋町杉ヶ沢では1980年ごろ、養父市(関宮町)葛畑では1984年ごろから見られなくなり神鍋山では1986年以降の確実な記録がない。

新しい産地が見つかったという情報があったり、既知産地のいくつかで採集されているという情報は聞くが、その真偽のほどはわからない。

■ 生態

【成虫の発生時期と交尾時期】

県南部の低地では6月中下旬に発生する。盛夏にヒョウモン類は夏眠し、秋まで姿が見られない。

交尾は通常夏眠前であるが、県南部での観察記録はない。

北部但馬地方では7月下旬が♂の発生ピークで、続いて♀が羽化する。気温の高い時期だが、日平均気温は25℃前後である。冷涼な但馬では夏眠せず、羽化後比較的早い時期に交尾が行われるようで、8月下旬から9月上旬に採集された♀は交尾済であり、8月14日に交尾を確認している。

但馬の高地では8月中旬から気温が下がりはじめ、9月上旬の平均気温は20℃を割り、♂の姿は見えなくなる。雨の日が多くなり、♀はススキやワラビの葉裏でじっとしている時間が多くなる。



養父市大屋町杉が沢 1979年8月14日

## 【産卵】

雌を採集して8月中旬から飼育を始めても、9月上旬から飼育を始めても、産卵は9月下旬からとなる。

飼育下での産卵は天気のよい日の午後に集中し、腹端を引きずる体勢で素早く歩き回り、1卵産みつけるとまた同じ体勢で素早く歩き回り産卵場所をさがすという行動の繰り返しである。

養父市(関宮町)葛畑でも、9月下旬の快晴の日の昼過ぎに産卵を観察した。ヒョイヒョイという感じでワラビのすぐ上を低く飛び、ワラビの下に飛び込み地上部で産卵してワラビの上に飛び出し、すぐにまたワラビの中にもぐり込んで産卵するという行為を繰り返した。

飼育下では11月まで生存し、その間継続的に産卵を続けるため多産となり、1頭の産卵数は1,000卵以上となる。

これまでの採卵例としては、養父市(関宮町)葛畑産の雌で1,507卵・1,151卵・1,776卵の3例がある。

## 【幼虫の生態】

産卵後30~40日で孵化する。幼虫は食草を食べずに越冬に入る。3月上旬には活動を始め、食草の新芽を食べはじめる。

3月末から4月上旬に2令となる。2~3令では食草の根元、重なった葉の間、石の隙間などに隠れ、摂食の時に食草に登る。4令では食草の根元、石の隙間などに隠れ発見は大変困難である。終令(5令)幼虫の食欲は旺盛で、かなりの範囲を移動する模様である。蛹の期間は17~25日。

幼虫の令数は文献等では5令と報告されているが1982年の観察では6令を数えた。(p190 図)これが当地方の個体群の令数なのか調査を要するところである。

幼虫を飼育して観察すると、日が暮れ始めると地面にいる幼虫は、例外なく壁を上り始める。そして頭部を上を垂直の姿勢で静止する個体が多く、一晩中ほとんど動くことなくじっとしている。

夜が明け、光が差し込む頃になると次々と地面に降り、スミレを食べ始め、明るい時間帯は地表で過ごす。

自然状態でも、幼虫がスミレを食べ、地表で過ごすのは明るい時間帯に限られ、暗くなるとススキなどの植物に登って地面から離れた状態で静止して夜を過ごすものと思われる。

幼虫の敵は夜間は地上を徘徊するネズミなどのほ乳類や食肉性の甲虫などであり、昼間は空を飛ぶ鳥、蜂類などと推定される。

これに対抗するためには、夜間は地表を離れて草などに登り、昼間は草に覆われ、空から見えない地表にいることは、天敵からの防御に合理的である。

## 【食草】

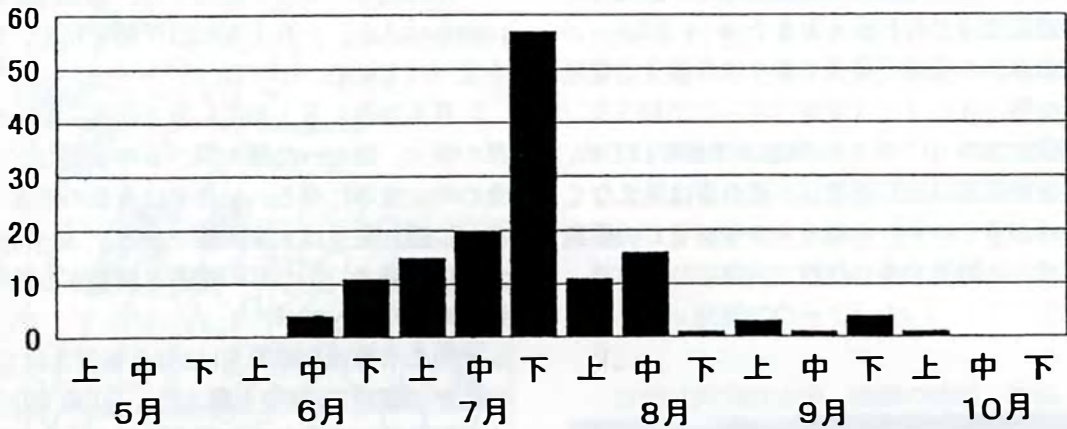
スミレ科植物を食草としているが、スミレの種については県内では確認されていない。当地方に分布する8種のスミレ類における食草嗜好調査を行ったところ、表のとおり、スミレ科のなかでも特にスミレ(*Viola mandshurica*)に対する嗜好性が強く、次いでアリアケスミレ、ニョイスミレ(ツボスミレ)の順であった。また、タチツボスミレ、ニオイタチツボスミレなど染色体が $X=10$ のタチツボスミレ類は食べなかった。

生息地のスミレ類の分布状況から判断して幼虫の食草はスミレのようである。

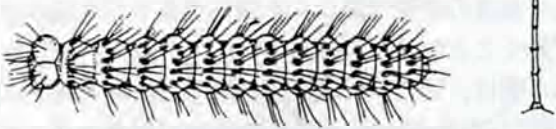


オオウラギンヒョウモンの周年経過

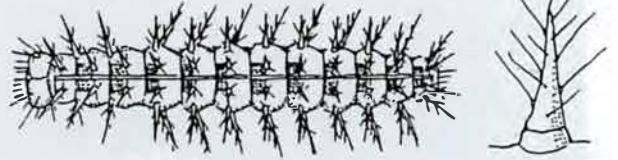
発生個体数



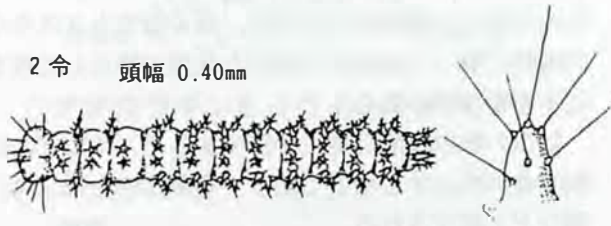
1令 頭幅 0.32mm



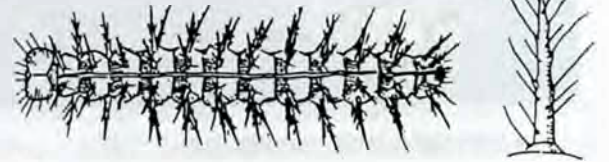
4令 頭幅 1.26mm



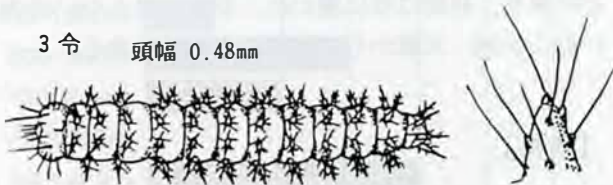
2令 頭幅 0.40mm



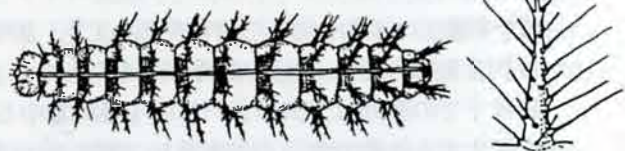
5令 頭幅 2.00mm



3令 頭幅 0.48mm



6令 頭幅 2.90mm



オオウラギンヒョウモンの各令数の幼虫と前胸刺毛の変化 1982年の飼育では6令を数えた。(養父郡関宮町葛畑産)

種別 個体別	スミレ	アリアケ スミレ	ノジスミレ	コスミレ	シハイスミ レ	ツボスミレ	タチツボ スミレ	ニオイタチ ツボスミレ	合計
A	46.4%	33.9%	—	—	—	17.9%	1.8%	0.0%	100.0%
B	30.0%	15.0%	—	—	—	52.5%	2.5%	—	100.0%
C	—	35.4%	—	—	64.5%	—	0.1%	0.0%	100.0%
D	28.6%	27.0%	15.8%	28.6%	—	—	—	—	100.0%
E	75.0%	10.8%	—	—	—	13.5%	0.0%	0.7%	100.0%
F	60.4%	15.7%	15.0%	—	—	8.5%	0.4%	0.0%	100.0%
G	33.0%	19.6%	13.4%	—	6.2	27.8%	0.0%	0.0%	100.0%
摂食 総量	52.2%	16.0%	8.2%	2.2%	3.2%	13.8%	0.2%	0.2%	100.0%

オオウラギンヒョウモンの幼虫のスミレ類嗜好性調査

## 【成虫の吸蜜植物】

県内で観察された吸蜜植物は次のとおりである。  
 (キク科)アザミ, ヒョドリバナ, コウリンカ, (サクラソウ科)  
 オカトラノオ,

## ■ 採集記録

- 尼崎市武庫川堤防<sup>10</sup>  
 川西市東谷 1♂ 11-VI-1948 吉坂道雄<sup>10</sup>  
 " 山下~大津次川原 1♂ 11-VII-1956 松本健嗣<sup>10</sup>  
 " 山下~一庫 1♂ 11-VII-1956 松本健嗣<sup>10</sup>  
 " 一の鳥居 ♂1♀ 29-VI-1947 手塚 浩<sup>10</sup>  
 宝塚市塩尾寺山紅葉谷1♀23-IX-1955森崎 譲<sup>10</sup>  
 " 御殿山(当時川辺郡小浜村川面鍋野)  
 1♀ 20-VII-1946 手塚 浩<sup>10</sup>  
 神戸市六甲山 2♂ 20-VII-1975 加藤昌宏<sup>10</sup>  
 小野市片山町 1♂ 13-VI-1932 山本広一<sup>10</sup>  
 神河町(大河内町)砥ノ峰2♂1♀ 9-VIII-1981 広畑政巳<sup>10</sup>  
 多可町加美区(加美町)鳥羽上 2♂ 21-VI-1964 山本俊良<sup>10</sup>  
 " 千ヶ峰<sup>10</sup>  
 " 三國岳 1ex上旬-VIII-1982 西島和興<sup>10</sup>  
 姫路市安富町関 2♂2♀ 16-VII-1978 平尾栄治<sup>10</sup>  
 豊岡市日高町神鍋 1♂1♀ 16-VIII-1986 木村三郎<sup>10</sup>  
 新温泉町(温泉町)扇ノ山<sup>10</sup>  
 養父市(関宮町)葛畑 5♂2♀ 24-VII-1977 広畑政巳<sup>10</sup>  
 " " 鉢伏高原 1♂ 6-VIII-1978 平尾栄治<sup>10</sup>  
 " " 東鉢伏山 3♀ 6-IX-1980 近藤伸一<sup>10</sup>  
 " " 福定 1♂ 11-13-VII-1954 吉坂道雄<sup>10</sup>  
 " " 鉢伏山 1♂ 10-VII-1955 吉阪道雄<sup>10</sup>  
 " " 氷ノ山 1♂ 29-VII-1954 吉阪道雄<sup>10</sup>  
 " " 別宮 1ex 高嶋 明<sup>10</sup>  
 養父市大屋町若杉峠<sup>10</sup>  
 " " 杉ヶ沢 3♂ 24-VII-1977 広畑政巳<sup>10</sup>  
 朝来市生野町段ヶ峰 1♀ 8-VII-1956 山本広一<sup>10</sup>  
 " " 栃原 尾崎 勇<sup>10</sup>  
 洲本市安乎町 1♂ 23-VI-1946 堀田 久<sup>10</sup>  
 南あわじ市(南淡町)賀集 1♂ -VI-1967 南<sup>10</sup>

## 69 ツマグロヒョウモン

(*Argyreus hyperbius hyperbius*)

## ■ 分布の状況

国外では朝鮮、台湾から東洋区の熱帯、亜熱帯地域、オーストラリアなどに分布する。

国内では本州近畿以南、四国、九州から南西諸島に分布し、現在分布域を北に拡大している。

県内のほぼ全域に分布し、いずれの地域でも個体数は多い。1980年代に個体数が増え、県内に広く定着し、現在では普通種となっている。

## 【県内における個体数の増加】

1970年当時県内ではまだ夏季以降に見られる程度の珍しい種であった。1976年には春季の記録も報告され、土着を裏付けるものとして1978年・1979年の2年間は福崎町新で越冬幼虫も確認している。なお本種の春季採集の最も古い記録としては、大東康人氏が1960年5月16日に明石市大蔵谷東山西山で採集した1♀がある。

淡路島では1977年ごろは、三熊山、先山、論鶴羽山など低山地の草地で成虫、幼虫がよく見られたが、平野部での個体数は少なかった。

阪神間では、六甲山系、長尾山系などの丘陵地の草原や山上で見られ、市街地では少なかったが、1987年頃から市街地で目につくようになった。

柏原町では1989年に市街地で多数の個体が見られるようになり、但馬地域においても近年は5月に成虫が見られるようになった。

温暖化とスマレならなんでも摂食するという食性と、園芸植物のパンジーの普及で一年中食草に困らないという環境と多化性のおかげで民家近くの蝶として分布を拡大し、近年ヒョウモン類の中で一番多く見かけるようになっている。

## ■ 生態

### 【成虫の発生時期】

5月上旬ごろから11月にかけて年4回程度発生する  
 第1回目は4月下旬ごろから発生し、5月下旬がピークとなるが個体数は少ない。

第2回目は6月下旬からあらわれ、7月上旬がピークとなり個体数も多くなる。その後は徐々に減じ、8月上旬



ごろには第3回目の発生が始まるが、世代は重なるようになり、第4回の明確なピークがみられないまま11月まで多くの個体数が見られる。県南部では一部が第5回目の成虫が発生している可能性もある。

### 【越冬について】

冬期は幼虫で越冬する。福崎町新では1978年・1979年の2年間、越冬幼虫も確認している。幼虫は食草付近の枯葉の裏、板切の下、植木鉢上部の手受けの窪みなどで確認できた。これらの幼虫は同じ場所で越冬して春を待つのではなく、暖かい日には移動もしている。調査をした一週間後に調べると、前に確認した8頭の幼虫で同じところにいたのは2頭で他は移動していた。

1978年2月4日午後2時30分ごろには移動中の幼虫を見ることができた。その日の気温は平均気温2.3℃、最低気温-3.3℃、最高気温8.9℃(姫路市の気温)であった。幼虫は移動するだけではなく暖かい日が続くと冬季でも摂食をするようで、当地で食草になっているアメリカ産のスミレの芽に本種の食痕らしきものが所々で見られた。

越冬を確認した1979年の1~2月の現地の温度は平均最高気温10.5℃、平均最低気温0.0℃、平均気温4.8℃、最低気温の極値-5.7℃、0℃以下の日数は2ヵ月合計で28日となっており、かなりの低温にも耐えることがわかっている。

越冬は福崎だけではなく西宮市南郷町でも1992年3月13日約3cmの幼虫が、同3月23日には3.5cmと1.2cmの幼虫が確認されている。

また福崎町新では1978年12月16日に2頭の蛹も確認している。この蛹は翌年1月12日には羽化しており、1ヵ月ほどの間で積算温度が得られ羽化したものと思われる。

いずれにしても越冬の状態は蛹と中令の幼虫しか確認されていないのが現状で、決まった越冬形態のない本種にとって冬季の気象条件を克服するには終令や若令ではなく中令が最適なのかもしれない。

### 【食餌植物】

スミレ科植物を食草とし、在来種、外来種、有茎種、無茎種の区分なく食草として利用されているのが確認されている。

#### 在来種

無茎種では、スミレ、シロバナスミレ、コスミレ、フモトスミレ、ヒメスミレ、ノジスミレ。有茎種ではタチツボスミレ、ナガバナタチツボスミレ、ツボスミレ<sup>8</sup>

#### 外来種

ニオイスミレ、ドイツスミレ、パンジー、ビオラナセア(アメリカ産スミレ)

### 【成虫の吸蜜植物】

県内で観察された吸蜜植物は次のとおりである。(リョウブ科)リョウブ(スイカズラ科)アベリア、(アオイ科)フヨウ<ピンク>、(クマツヅラ科)ランタナ<ピンク・橙>、コバノランタナ<ピンク>、クサギ<ピンク>、(ブドウ科)ヤブガラシ、(キク科)ヒャクニチソウ<橙>、セイヨウタンポポ、キク、セイタカアワダチソウ、ヒヨドリバナ、サワヒヨドリ、ノジギク<白・ピンク>、ミヤコワスレ<ピンク>、ノアザミ、シオン、マリゴールド、カンサイタンポポ、キンタイギク、コスモス、ヨメナ、(シソ科)ホトケノザ、サルビア<赤>、ペパーミント。(イソマツ科)スターチス。(ヒユ科)センニチコウ、(ミソハギ科)ミソハギ、(サクラソウ科)オカトラノオ、(ナデシコ科)ナツナデシコ、カワラナデシコ<ピンク>、(スミレ科)パンジー、(キキョウ科)ツリガネニンジン、(マメ科)レンゲソウ、シロツメクサ、(ユリ科)ニラ、ネギ

ツマグロヒョウモンの周年経過

